

決算説明資料

2026年3月期(2025年度)

期末決算

2025/04~2026/03

TACHI-S CO.,LTD.

2026年5月26日



プロフィール

商号	株式会社 タチエス
本社	東京都青梅市末広町 1 - 3 - 1
設立	1954年4月
資本金	90億40百万円
売上高	2,690 億円 (2026年3月期 連結)
社員数	8,790 名 (2026年3月期 連結)
株式	東京証券取引所 プライム市場
事業内容	自動車シート製造業

目次

- ▶ **1. 2026年3月期 決算実績**
- ▶ **2. 2027年3月期 業績見通し**
- ▶ **3. 中期経営計画（TVE※）の進捗**

※Transformative Value Evolution

目次

- ▶ **1. 2026年3月期 決算実績**
- ▶ 2. 2027年3月期 業績見通し
- ▶ 3. 中期経営計画（TVE※）の進捗

※Transformative Value Evolution

2026年3月期 決算概要（連結）－前期比・計画比－

2026年3月期 決算実績

単位：億円（億円未満切捨て）

	25/3	26/3		増減額 増減率	
	実績	25年11月公表 計画値	実績	前期比	計画比
売上高	2,853	2,640	2,690	-163 -5.7%	+50 +1.9%
営業利益	96	90	116	+19 +20.6%	+26 +28.9%
経常利益	107	110	138	+30 +28.2%	+28 +25.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	113	80	92	-20 -17.8%	+12 +16.2%

<26/03 前期比概要>

- ◆ 売上高は日本の販売台数減少影響と、北米の日産向けビジネスの閉鎖及び中国において事業会社を持分法適用会社へ変更した影響により減収となりました。営業利益は継続して取り組む収益改善や構造改革の効果により増益となりました。
- ◆ 経常利益は前期の関係会社配当金及び利息回収が減少した影響があったものの、円安による為替差損の減少効果により増益となりました。親会社に帰属する当期純利益は、前期の固定資産売却益や関係会社等の株式売却益の剥落により減益となりました。

業績変化の要因 (連結) -前期比-

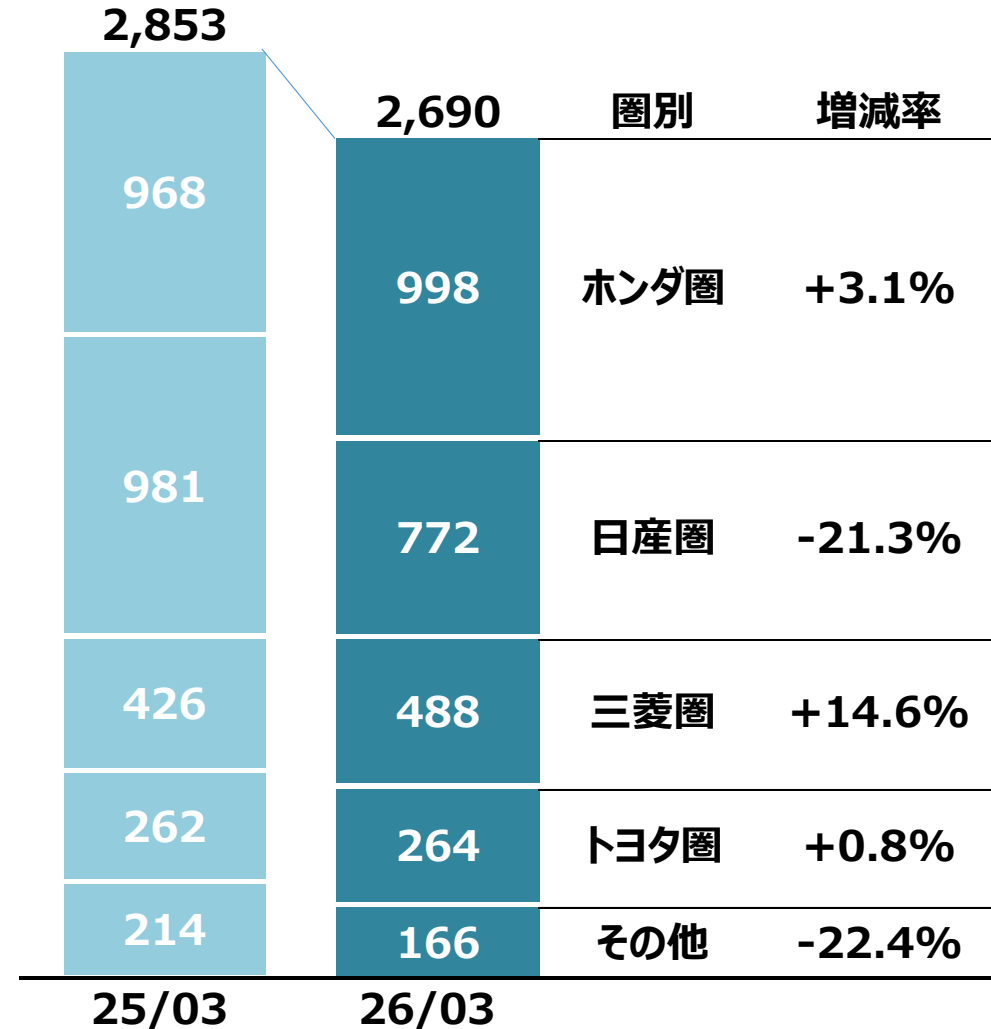
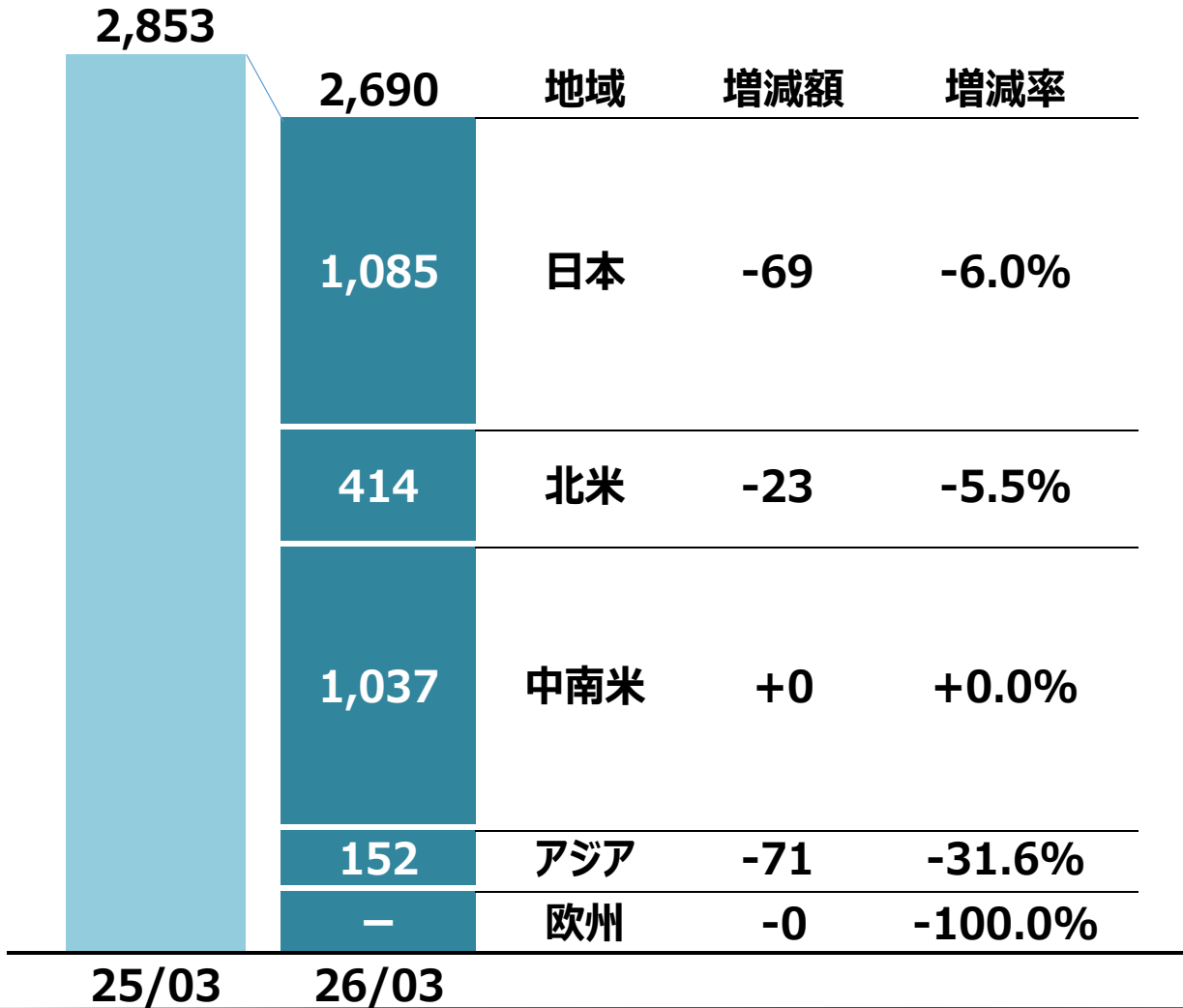
単位：億円(億円未満切捨て)

為替レート	
25/03	26/03
USD 150.88	USD 150.23
MXN 8.31	MXN 7.76
RMB 20.98	RMB 20.81

売上高

地域別

圏別

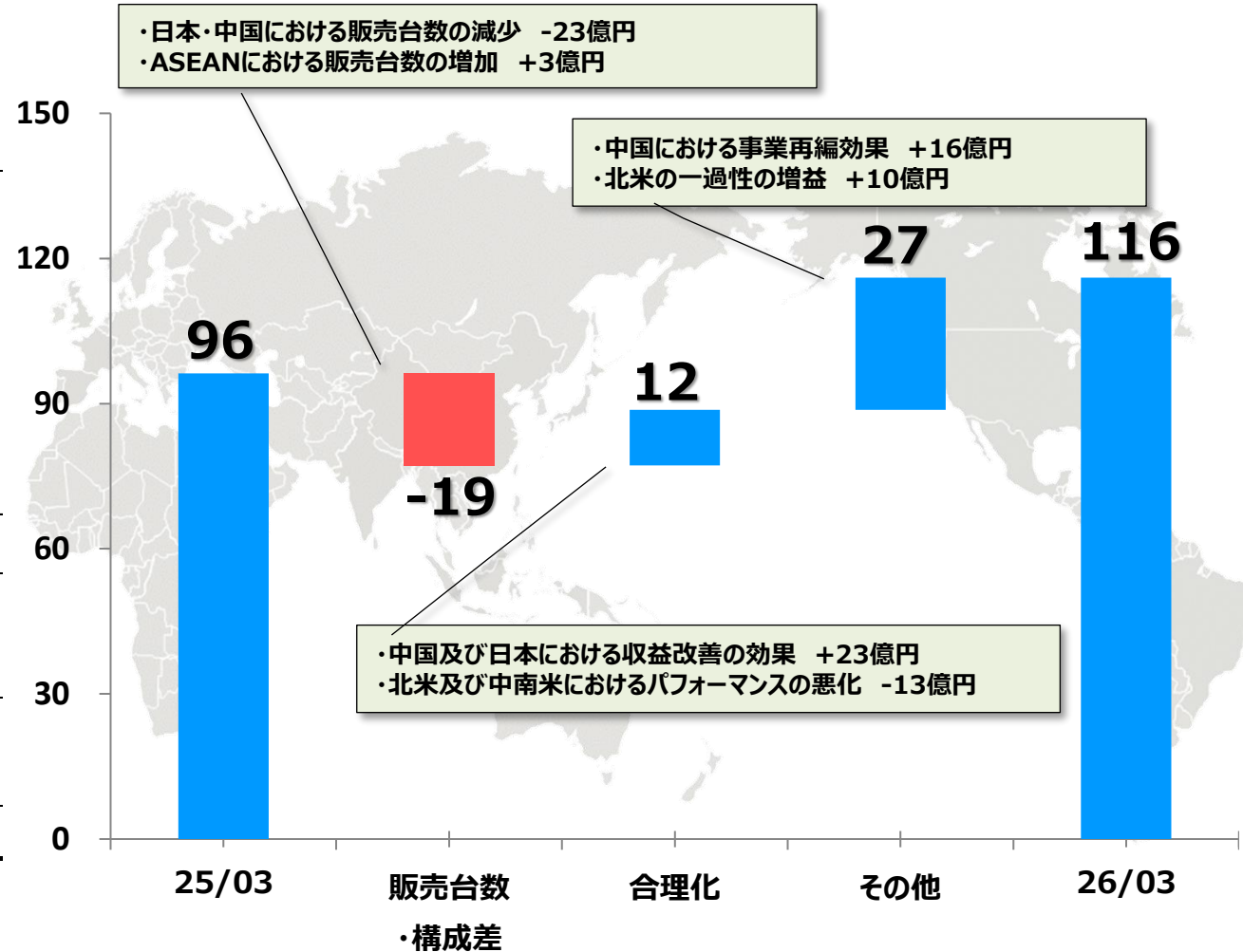
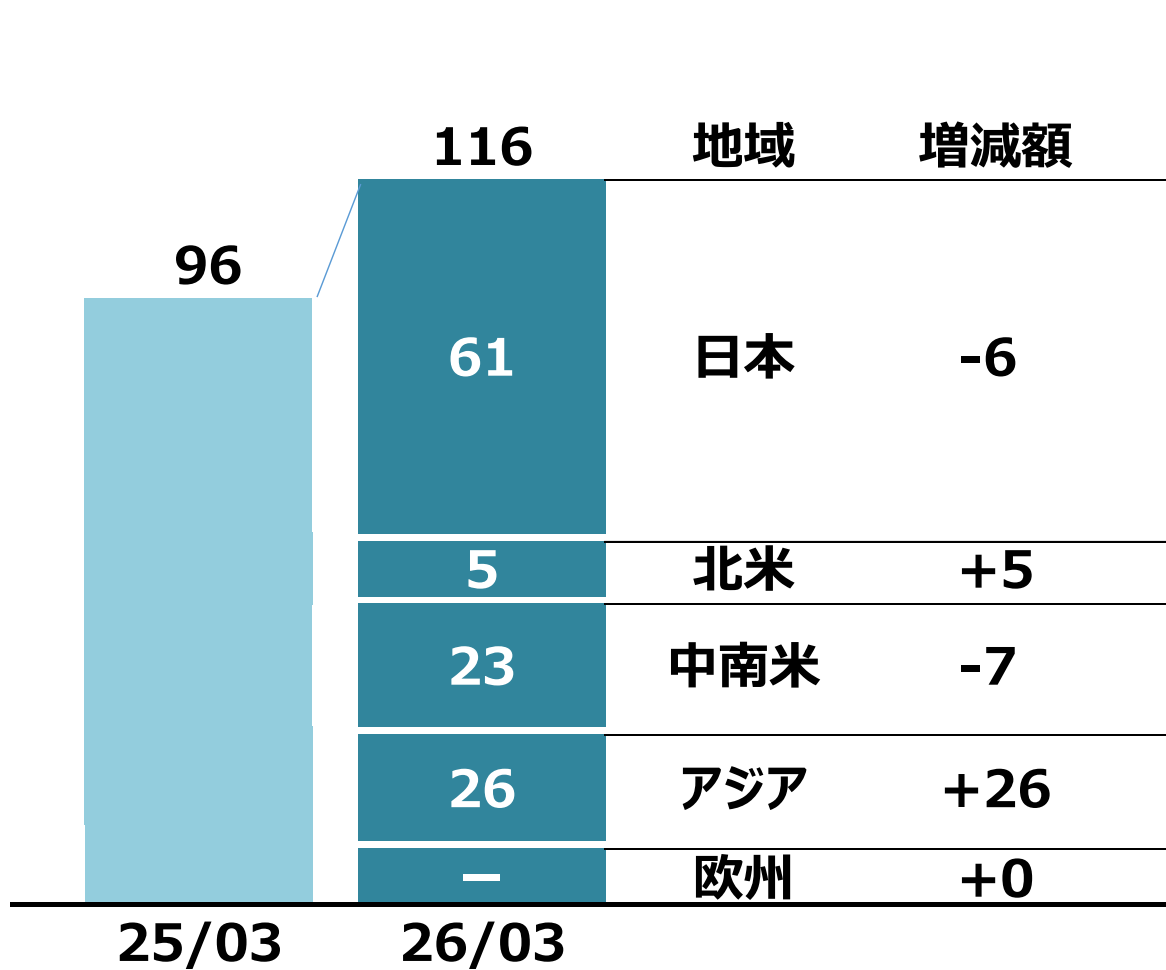


営業利益の増減要因分析（連結）－前期比－

営業利益

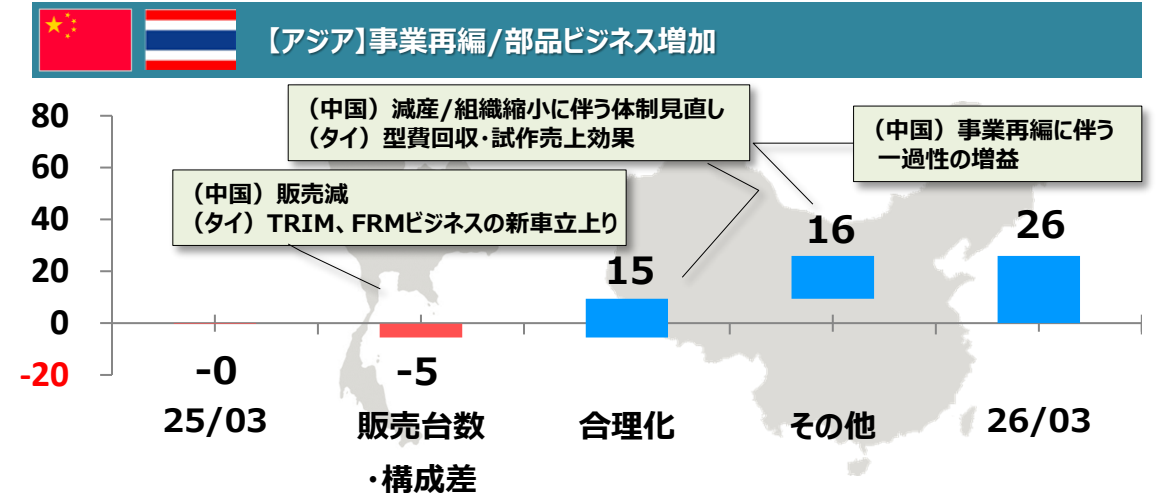
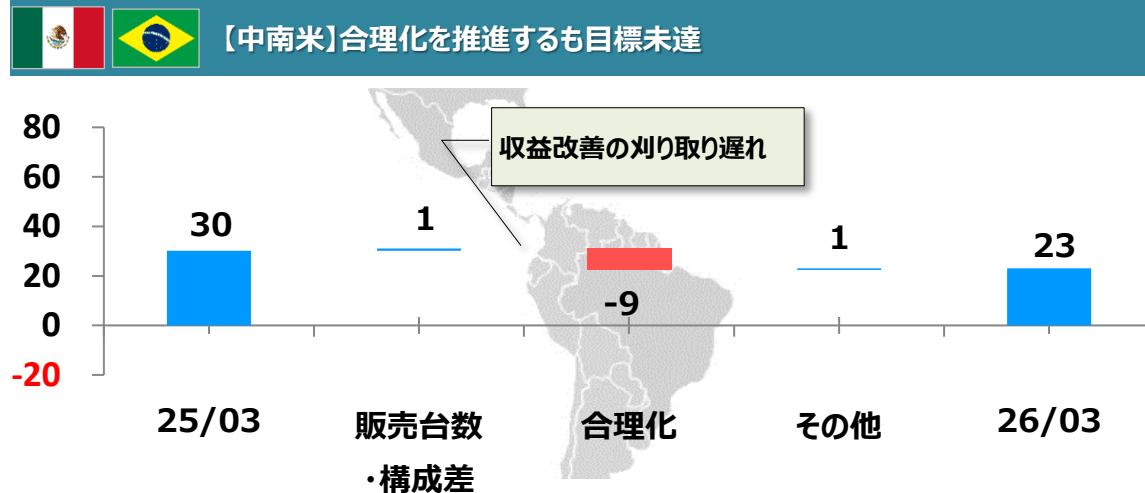
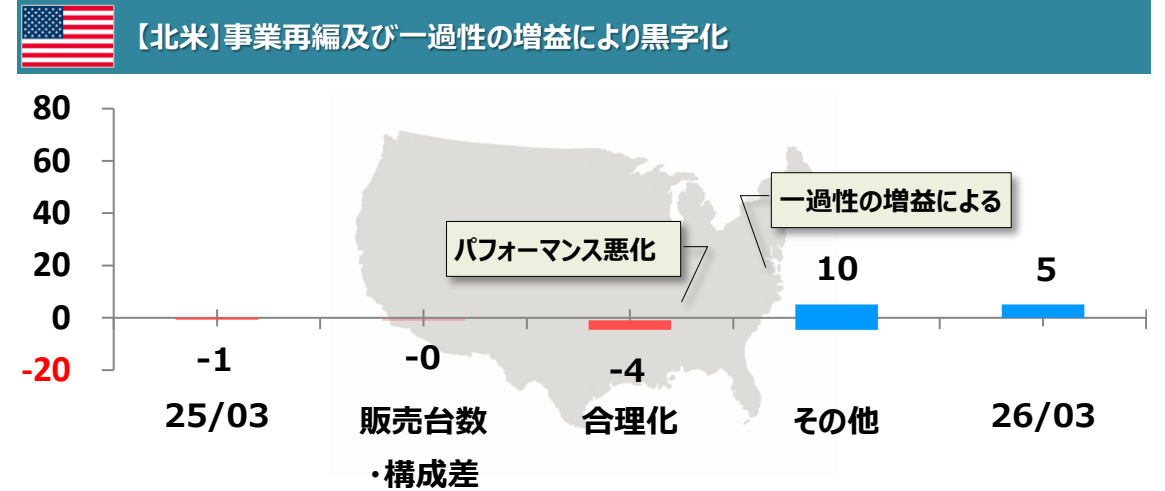
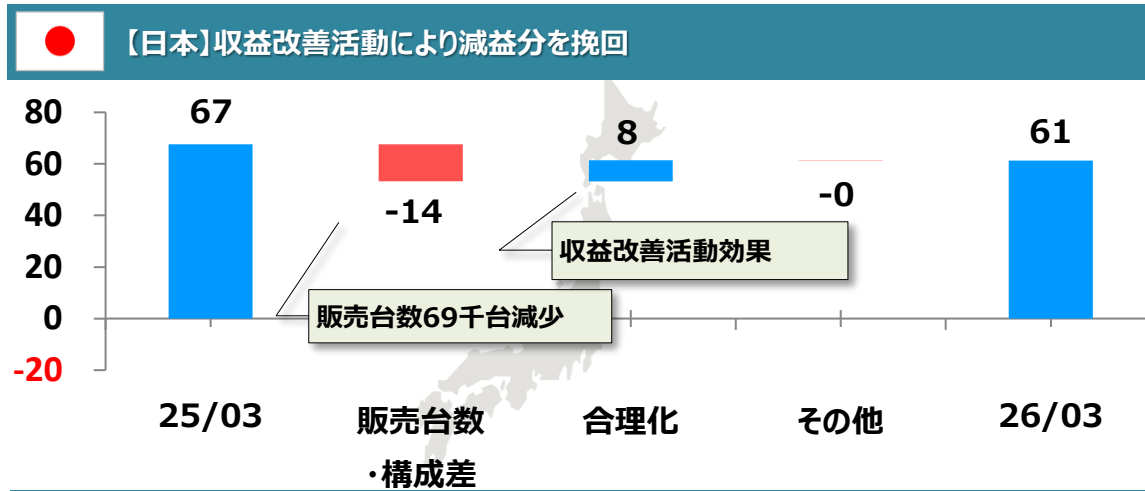
➤ 継続して取り組む収益改善及び事業再編効果により大きく増益

単位：億円(億円未満切捨て)



営業利益

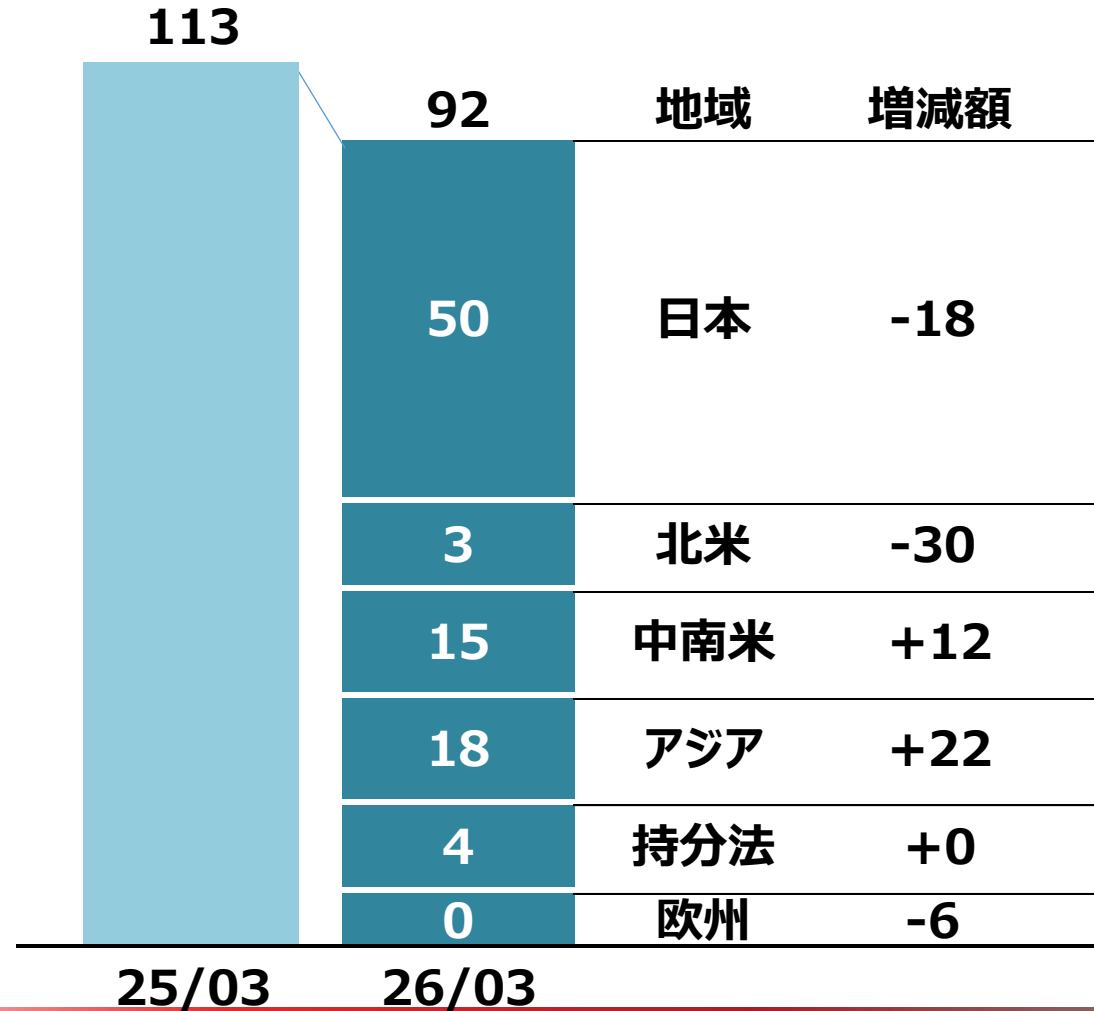
単位：億円(億円未満切捨て)



業績変化の要因（連結）－前期比－

親会社株主に帰属する
当期純利益

単位：億円(億円未満切捨て)



➤ 前期の固定資産売却益や関係会社等の株式売却益の剥落により減益

目次

- ▶ 1. 2026年3月期 決算実績
- ▶ **2. 2027年3月期 業績見通し**
- ▶ 3. 中期経営計画（TVE※）の進捗

※Transformative Value Evolution

単位：億円
 (億円未満切捨て)

	26/3	27/3	増減額	増減率(%)
売上高	2,690	2,700	+9	+0.4
営業利益	116	120	+3	+3.4
経常利益	138	130	-8	-5.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	92	86	-6	-7.5

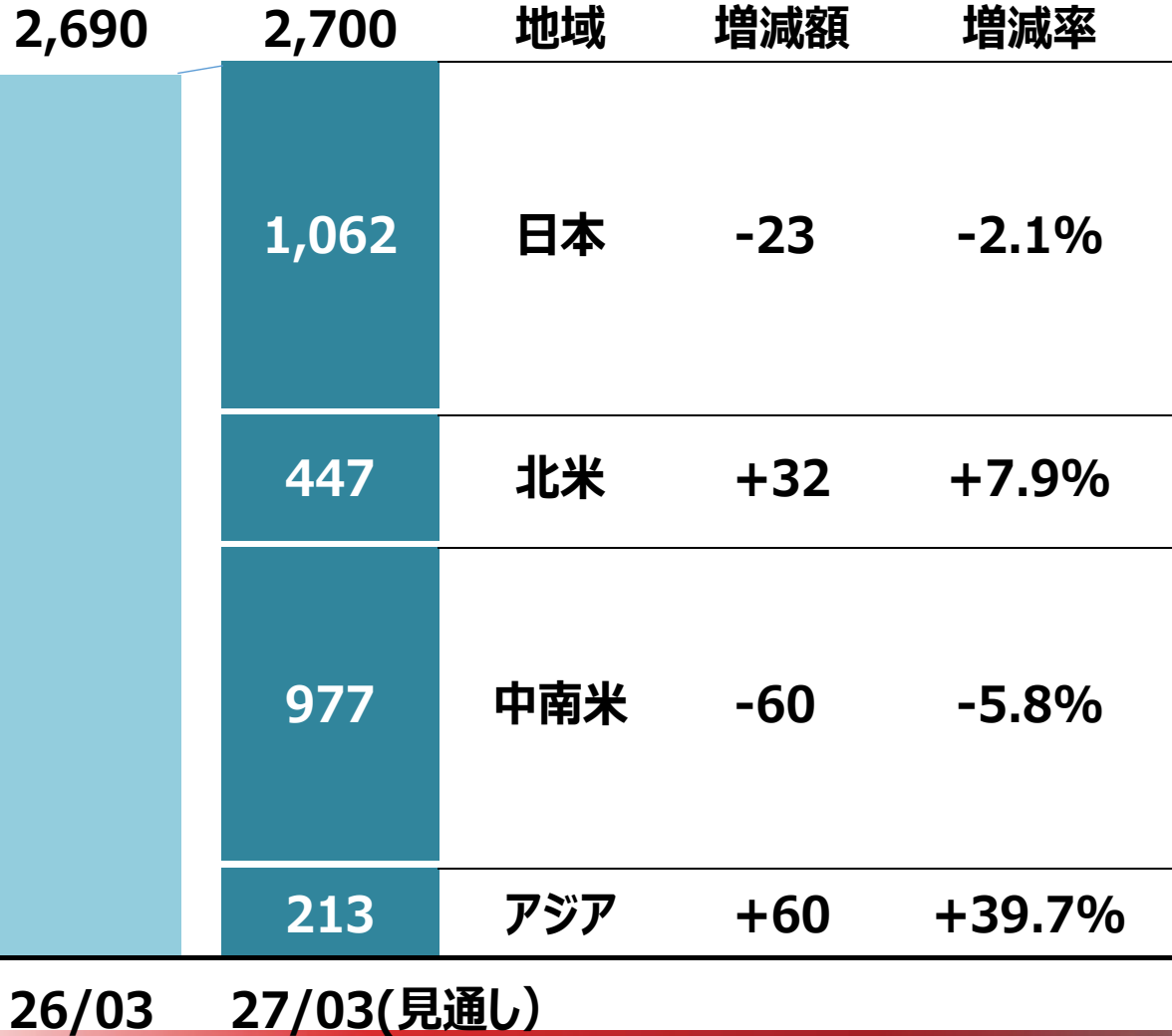
<27/03 通期見通し> ※ 4月10日発表のTOYO H&I統合影響については本見通しに含んでおりません。

- ◆ 売上高は、中南米の販売台数減少影響があるものの、日本、北米、アジアの得意先販売台数増加効果により微増となる見込みです。営業利益は前年度の中国における事業再編効果及び北米の一過性収益の剥落があるものの、各地域での販売台数増加や、中南米の生産性向上効果により増益を見込んでいます。
- ◆ 経常利益は、持分法会社の増益を見込むものの、為替影響により減益。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度の事業再編費用減少の効果はあるものの、為替影響等により減益で着地見込みです。

業績見通しの要因 (連結) -前期実績比-

売上高

地域別

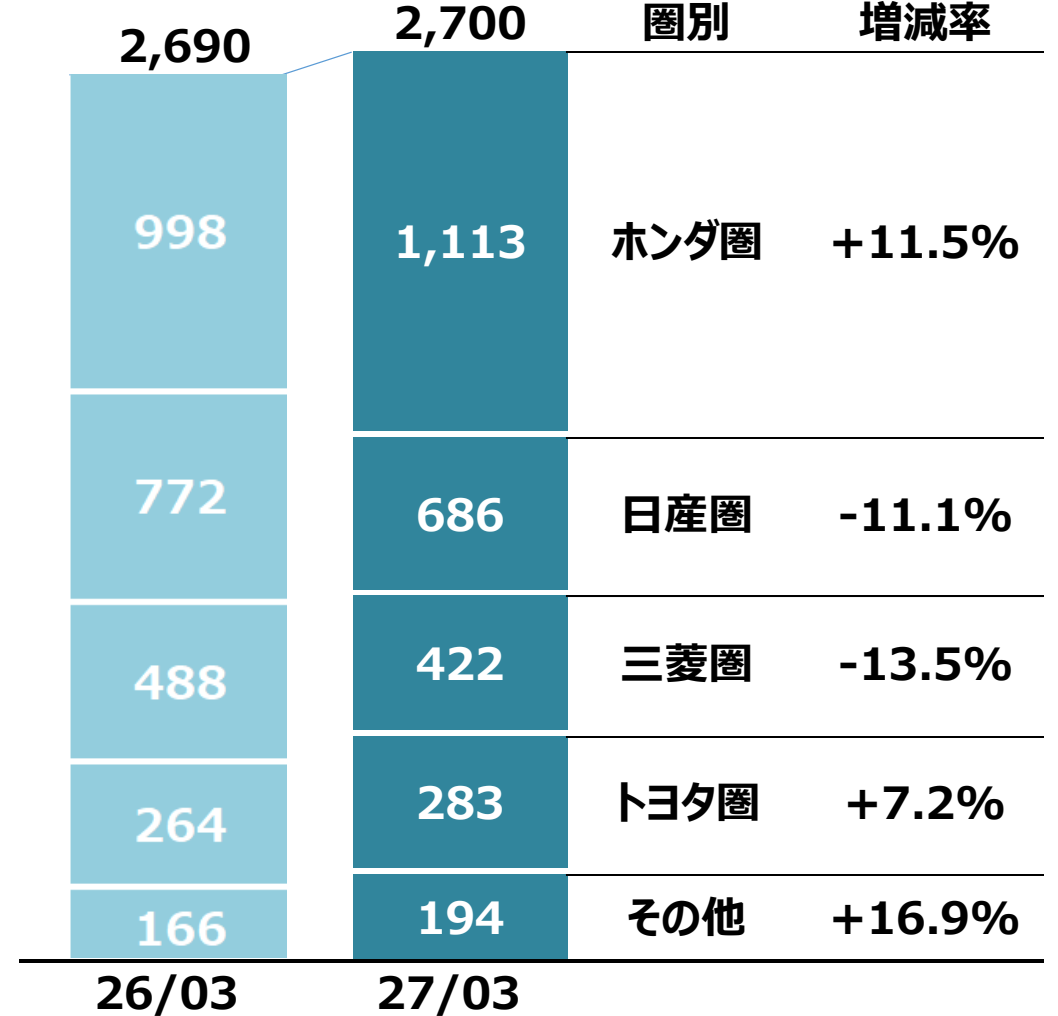


単位：億円(億円未満切捨て)

圏別

為替レート

26/03	27/03
USD 150.23	USD 152.00
MXN 7.76	MXN 8.20
RMB 20.81	RMB 22.00

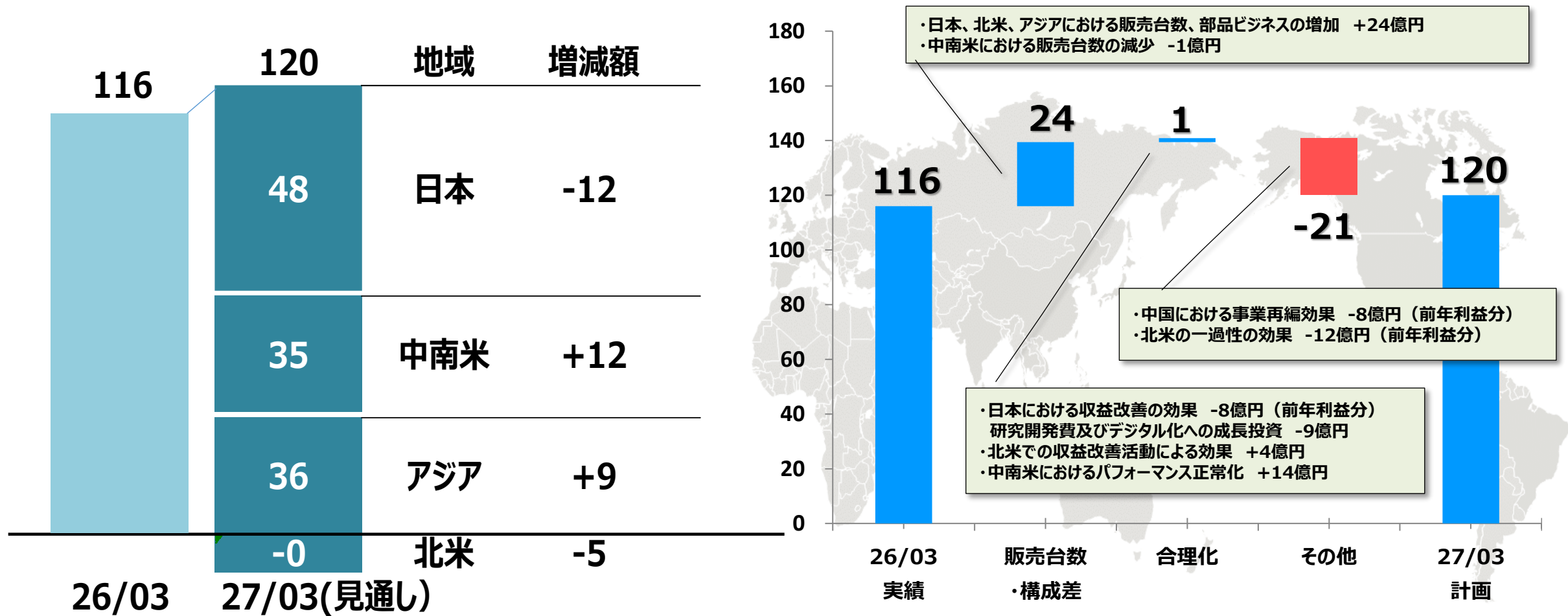


業績見通しの要因 (連結) -前期実績比-

営業利益

➤ 前年に計上した一過性収益の押し上げ効果は剥落するものの、販売増加を背景に前期以上を見込む

単位：億円(億円未満切捨て)

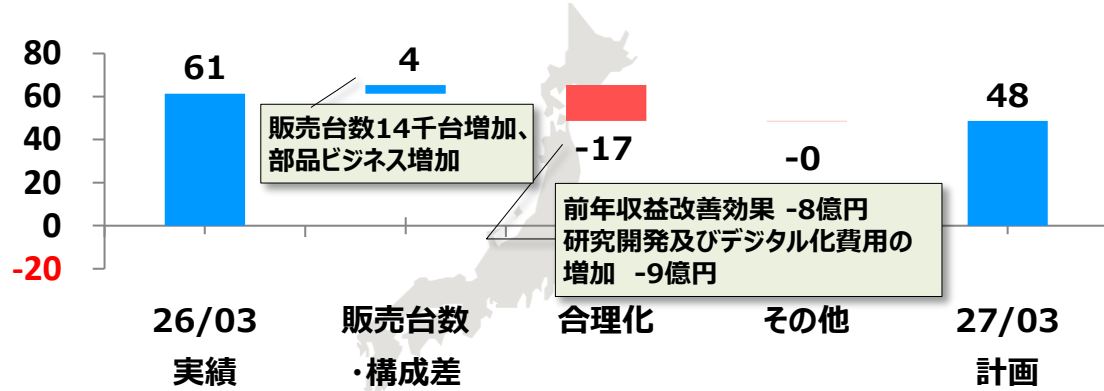


業績見通しの要因（連結）－前期実績比－ 主要地域別

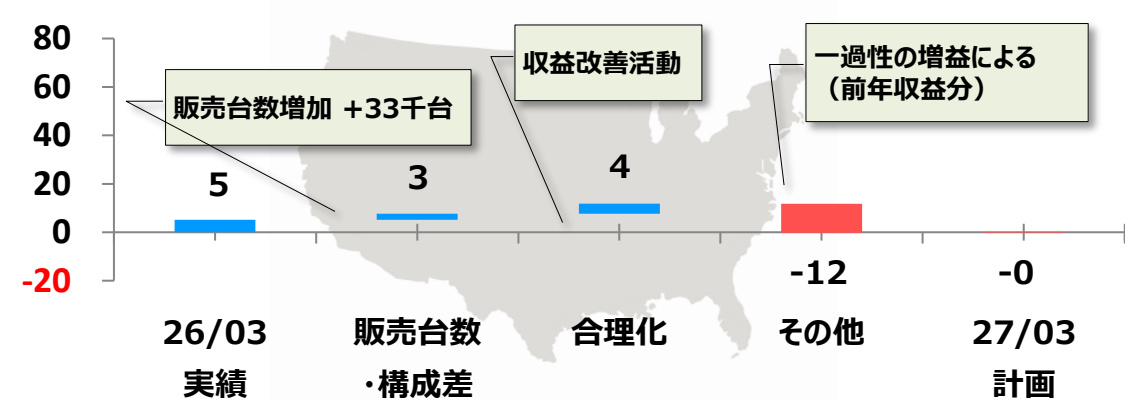
営業利益

単位：億円(億円未満切捨て)

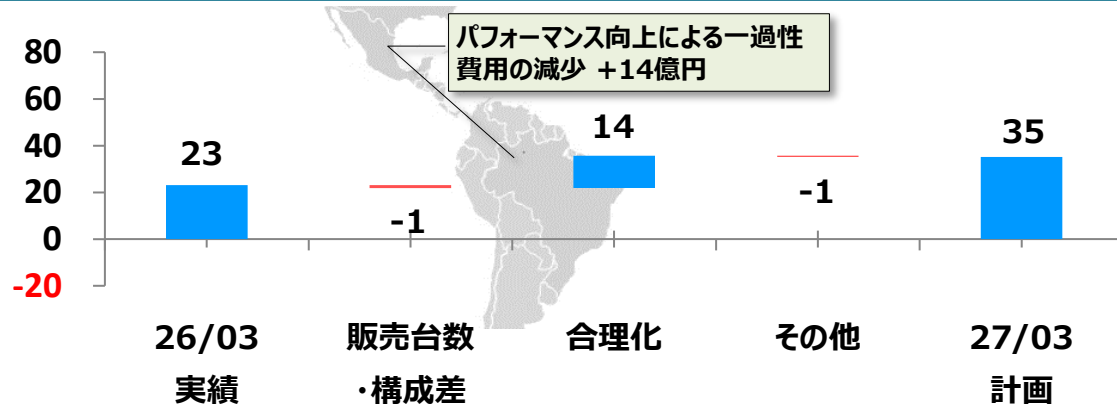
● 【日本】成長のための投資を行う中で目標営業利益達成を目指す



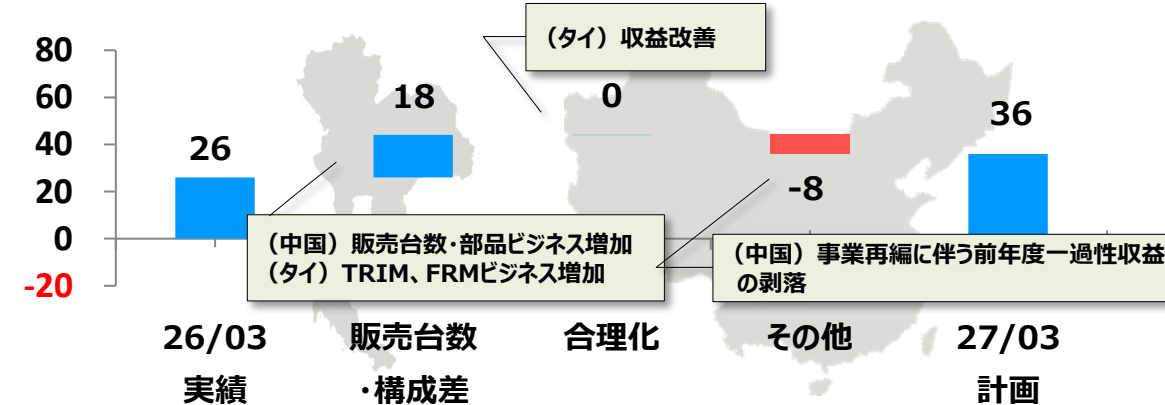
🇺🇸 【北米】黒字化に向け合理化活動の推進を図る



🇲🇽 🇧🇷 【中南米】合理化推進により増益

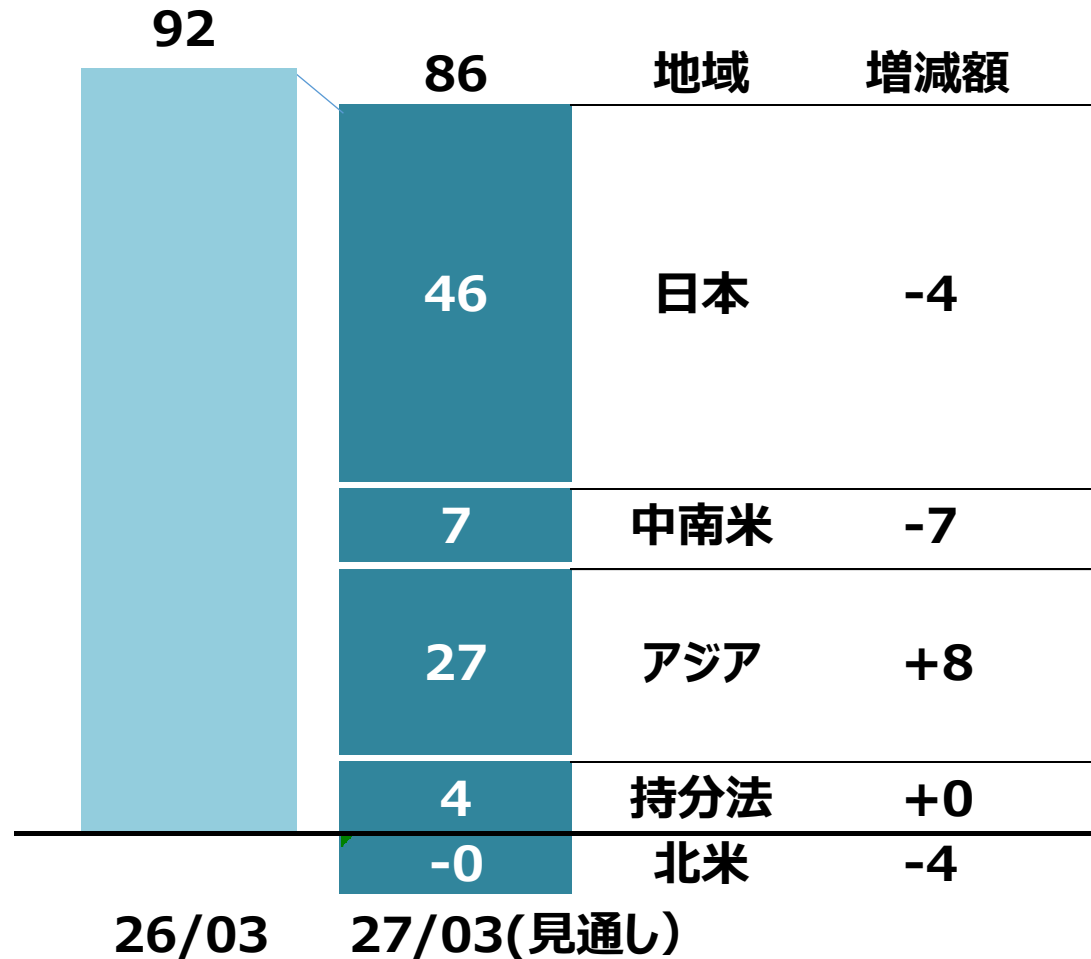


🇨🇳 🇹🇼 【アジア】一過性の減益も営業利益維持/部品ビジネス増加により増益



**親会社株主に帰属する
当期純利益**

単位：億円(億円未満切捨て)



➤ 前年度の事業再編費用減少の効果はあるものの、為替影響等により減益で着地見込み

2027年3月期 事業運営上のマネジメントポイント

➤ 事業環境が不透明さを増す中、マネジメント上のPDCAサイクルをよりスピーディーにまわし、変化に対応する

事業全般のリスク

全体マネジメントポイント

地域別 主要マネジメントポイント

中東情勢の緊迫

部品調達
リスク

エネルギー/
原材料他
コスト全般の
上昇圧力

自動車市場の先行き不透明感

販売台数の
減少リスク

- サプライチェーンの見える化による部品調達の徹底
- 部品調達/コスト上昇に関するお客様、お取引先様とのコミュニケーション
- 減産時の適切なマネジメント

日本

- 成長に向けた投資の適切な管理と継続したパフォーマンスのマネジメント

北米

- モノづくり競争力強化を通じたパフォーマンスの向上
- USMCA動向を注視と同変化への対応

中南米

- モノづくりオペレーションの改善と安定化
- 品質を含む経営基盤の強化

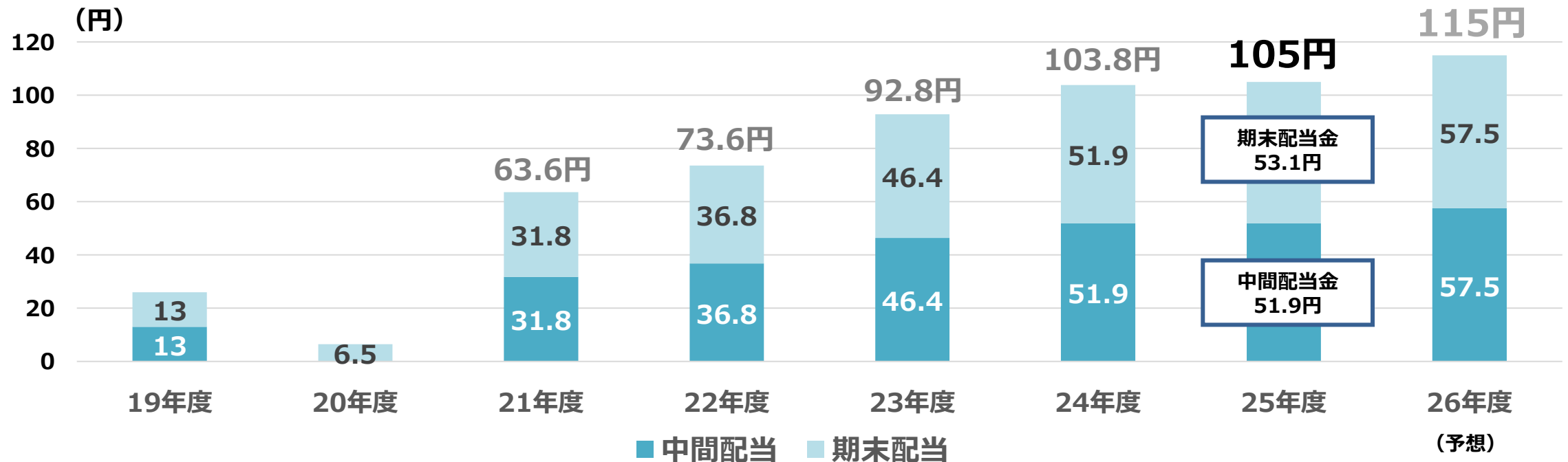
アジア

- (タイ) 新ビジネスの円滑な立ち上げとパフォーマンスの堅持
- (中国) 部品ビジネスの受注拡大

財務資本戦略 株主還元

- 2025年度は年間配当105円へ増配、更に2026年度は115円に増配を予定しております
- 中計TVE Wave2 2027の株主還元方針（総還元性向50%以上）を着実に実行する為、今後も増配及び自己株式取得等を機動的に組み合わせ、安定的かつ持続的な還元をしてまいります

配当金額の推移



目次

- ▶ 1. 2025年3月期 決算実績
- ▶ 2. 2026年3月期 業績見通し
- ▶ 3. **中期経営計画（TVE※）の進捗**
 - TVE Wave2 2027リマインド
 - 「深化」 現有事業での持続的価値創造
 - 「深化」 組織営業力の強化2.0
 - 「深化」 モノづくり競争力の強化2.0
 - 「深化」 事業領域の拡大
 - 「進化」
経営基盤の強化

※Transformative Value Evolution

目次

- ▶ 1. 2025年3月期 決算実績
- ▶ 2. 2026年3月期 業績見通し
- ▶ 3. **中期経営計画（TVE※）の進捗**
 - TVE Wave2 2027リマインド
 - 「深化」 現有事業での持続的価値創造
 - 「深化」 組織営業力の強化2.0
 - 「深化」 モノづくり競争力の強化2.0
 - 「深化」 事業領域の拡大
 - 「進化」
経営基盤の強化

※Transformative Value Evolution

2030ビジョン

社は“互譲協調”に沿い、イノベーションにより提供価値を変革し競争力・収益力を高めると同時に社会課題への対応を通じサステイナブル社会の実現に貢献する

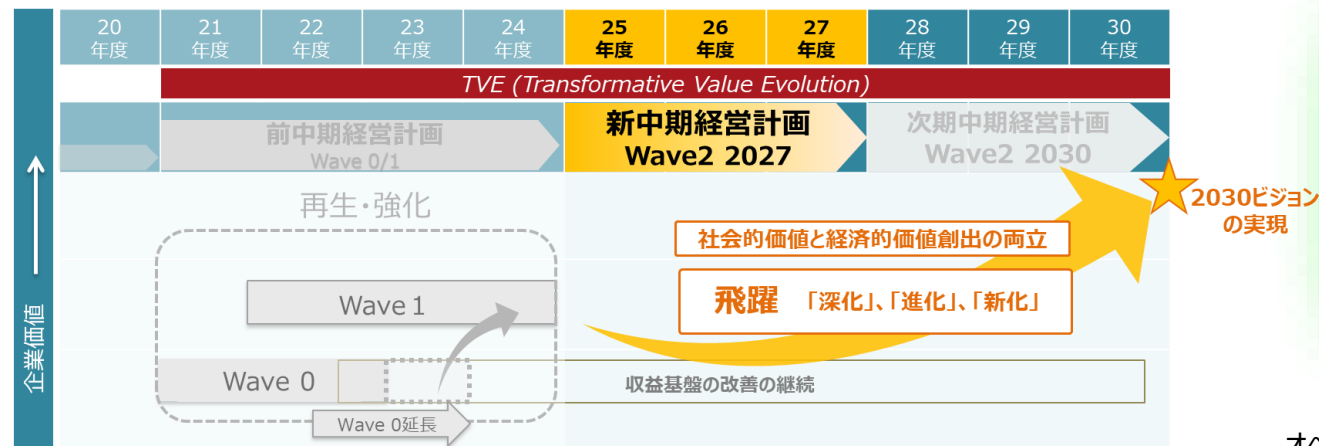
TVE ロードマップ

Wave0/1 基盤再構築による再生・強化フェーズ

- ・収益構造の改善
- ・資本効率の改善

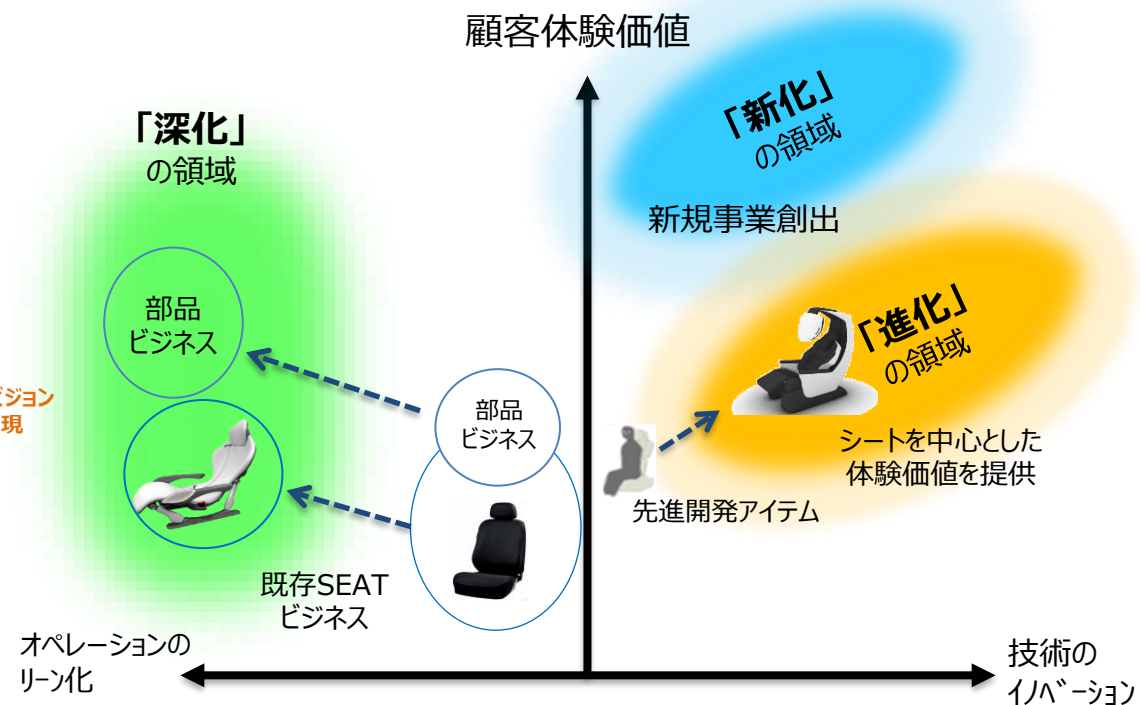
Wave 2 ビジネス成長の大いなる飛躍フェーズ

- ・社会的価値と経済的価値創出の両立へ



事業ポートフォリオ

当社の立ち位置と目指す方向性



部品ビジネス：フレーム、シート表皮、ヘッドレスト、機構部品

2030 ビジョン

社は“互譲協調”に沿い、イノベーションにより提供価値を変革し競争力・収益力を高めると同時に社会課題への対応を通じサステナブル社会の実現に貢献する

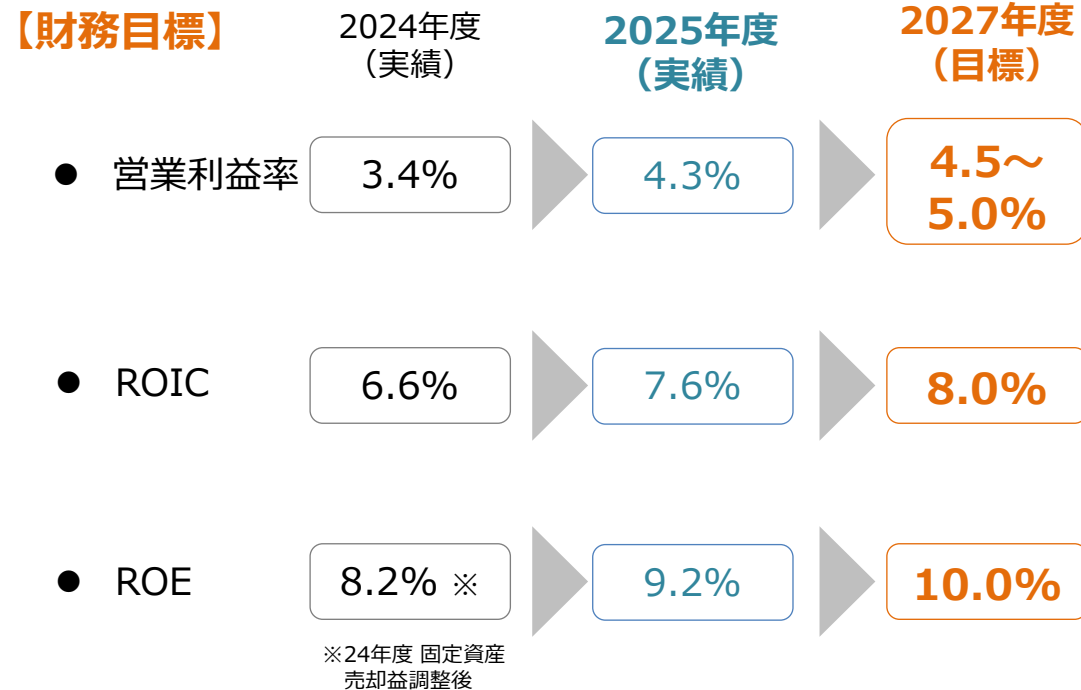


「深化」	<p>現有事業での持続的価値向上 2027年営業利益率 4.5%~5.0%達成に向けて</p>	サステナビリティ	DXの推進
	<p>組織営業力の強化 2.0 ターゲット車種の受注と2030年向け売上増にむけたマーケティング活動（部品ビジネス）の強化、事業領域の拡大</p>		
	<p>モノづくり競争力の強化 2.0 デジタル技術の最大活用を通じたグローバルでのモノづくりプロセスの変革による大幅な生産性の改善</p>		
「進化」	<p>人間の五感にアプローチをかけ、車室空間におけるシートを中心とした体験価値を創出</p>		
「新化」	<p>新事業領域への参入、アドバンテッジ パートナースとの事業提携の活用</p>		
経営基盤の強化	<p>人的資本経営の推進</p>		
	<p>財務・資本戦略</p>		
	<p>安全、品質、ガバナンス</p>		

財務目標

基本方針

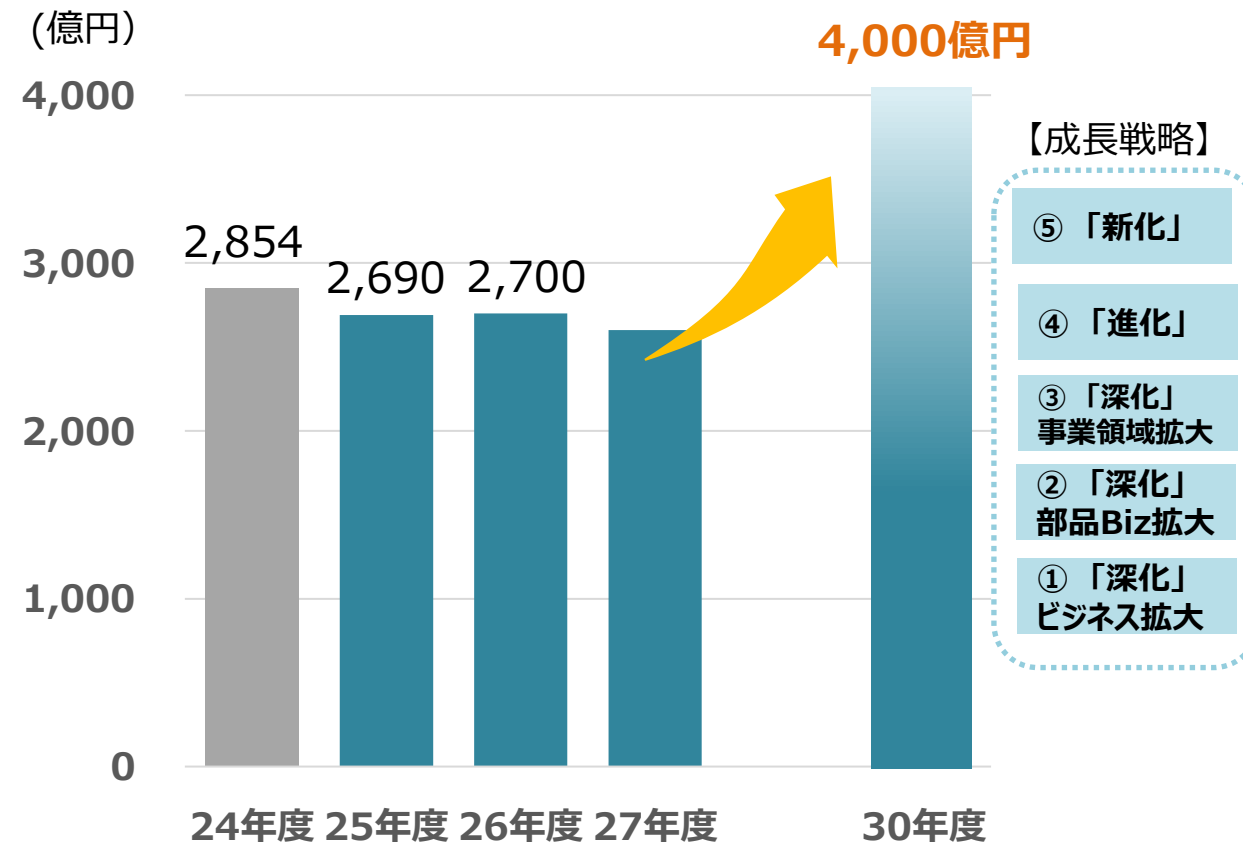
- 営業利益率の更なる引き上げに最優先で取り組むと共に資本効率の向上を図る



成長戦略

基本方針

- 2025~2027年度期間は、2030年度売上高の4,000億円規模へ引き上げに向け成長戦略を実行する



目次

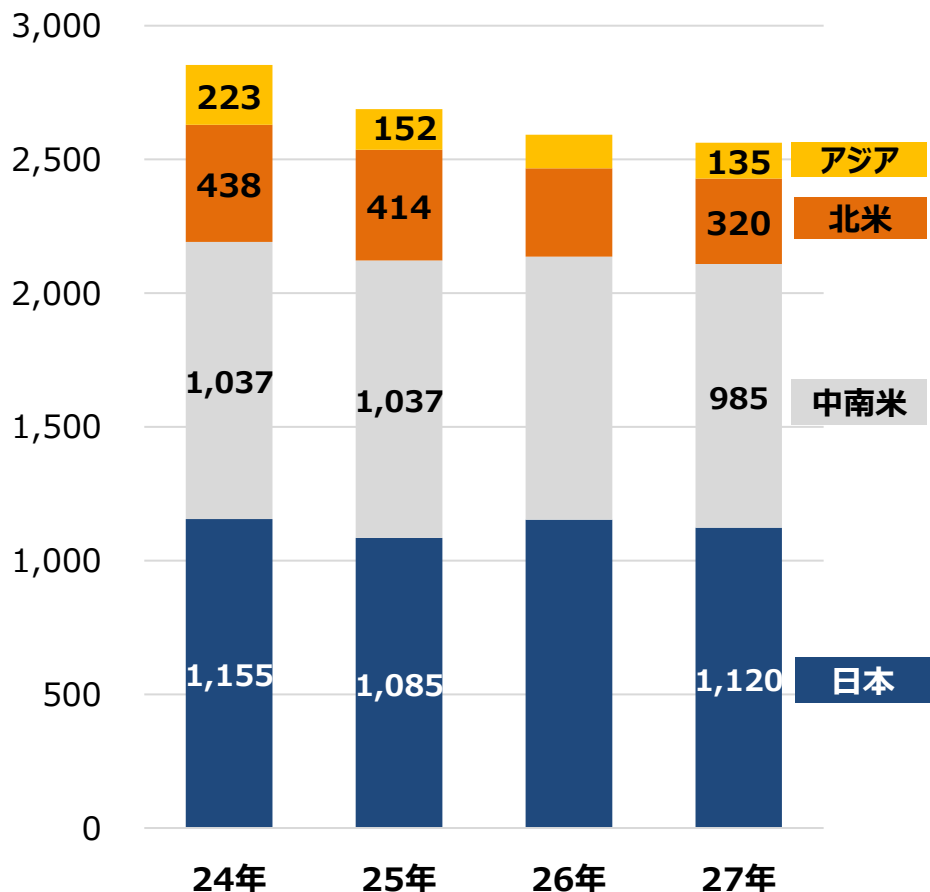
- ▶ 1. 2025年3月期 決算実績
- ▶ 2. 2026年3月期 業績見通し
- ▶ 3. **中期経営計画（TVE※）の進捗**
 - TVE Wave2 2027リマインド
 - 「深化」 現有事業での持続的価値創造
 - 「深化」 組織営業力の強化2.0
 - 「深化」 モノづくり競争力の強化2.0
 - 「深化」 事業領域の拡大
 - 「進化」
経営基盤の強化

※Transformative Value Evolution

「深化」 現有事業での持続的価値向上

(億円)

売上高内訳



営業利益率

(一過性要因を除く)



地域

マネジメントのポイント

アジア

27年営業率
目標8.2%

- (中国) 合併相手の強みを活かした事業の強化
- (タイ) 収益の維持と更なるビジネス拡大
機会の追求

北米

27年営業率
目標0.0%

- モノづくり競争力の向上による収益改善
新モデル導入に向けた適切な準備
- グループを活用し部品調達費を低減

中南米

27年営業率
目標6.0%

- モノづくりオペレーションの改善と安定化
- 品質を含む経営基盤の強化

日本

27年営業率
目標4.5%

- 成長に向けたグループ全体の投資他固定費の
適切なコントロールと収益の維持

目次

- ▶ 1. 2025年3月期 決算実績
- ▶ 2. 2026年3月期 業績見通し
- ▶ 3. **中期経営計画（TVE※）の進捗**
 - TVE Wave2 2027リマインド
 - 「深化」 現有事業での持続的価値創造
 - 「深化」 組織営業力の強化2.0**
 - 「深化」 モノづくり競争力の強化2.0
 - 「深化」 事業領域の拡大
 - 「進化」
 - 経営基盤の強化

※Transformative Value Evolution

「深化」 組織営業力の強化 2.0 受注活動状況

2025年度 グローバルでシートビジネス 6 車種、シート表皮 5 車種、機構部品 2 車種の受注

- ▶ 得意先の車種戦略変更に対応し各地域で受注
- ▶ インドでは、合併パートナーとの売込み活動でシートビジネスを獲得
→成長市場であるインドで将来のシートビジネスの礎を築いた



シート



シート表皮



機構部品

日本

北中南米

中国

インド

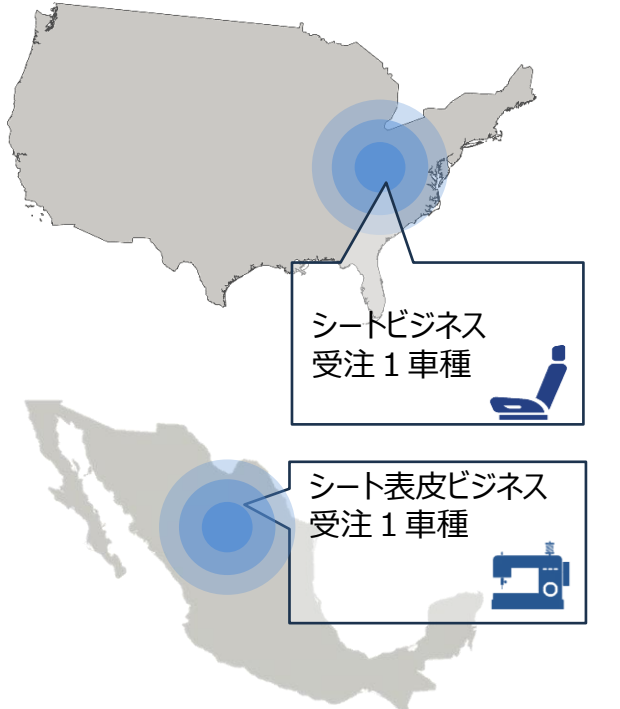
シート表皮ビジネス
受注 1 車種



機構部品ビジネス
受注 1 車種



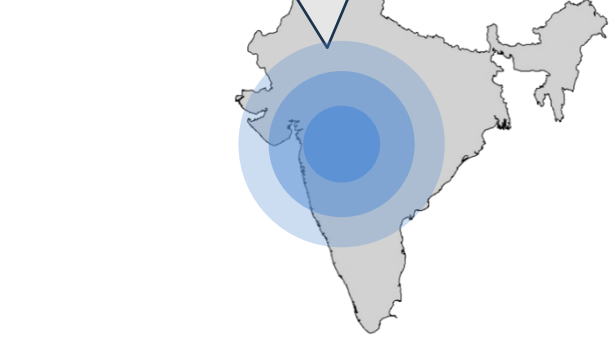
シートビジネス
受注 1 車種



シートビジネス受注 1 車種
シート表皮ビジネス受注 3 車種



シートビジネス受注 3 車種
機構部品受注 1 車種



引き続きシートから機構部品、シート表皮、シートフレームまでの更なるビジネス拡大へ

シートビジネス受注実績から
更なるビジネス拡大へ

目次

- ▶ 1. 2025年3月期 決算実績
- ▶ 2. 2026年3月期 業績見通し
- ▶ 3. **中期経営計画（TVE※）の進捗**
 - TVE Wave2 2027リマインド
 - 「深化」 現有事業での持続的価値創造
 - 「深化」 組織営業力の強化2.0
 - 「深化」 モノづくり競争力の強化2.0
 - 「深化」 事業領域の拡大
 - 「進化」
経営基盤の強化

※Transformative Value Evolution

「深化」モノづくり競争力の強化 2.0

TPW (TACHI-S Production Way) 戦略の実践

- 省人化に向け、自動化、デジタル活用、人とロボットの協働、工程改善を進め、誰もが活躍できる生産体制の構築
- グローバルで統一された生産思想のもと、どこでも同じ競争力を発揮できる工場へ

環境変化課題

1. 労働力不足
2. 人件費上昇
3. 需要変動
4. 市場変化

TPW戦略

自動化



デジタル化



サーカス式



人にやさしい

2025



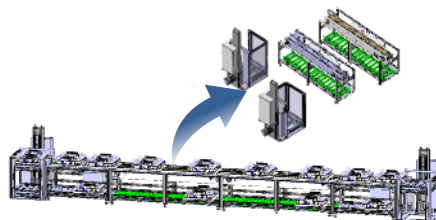
ロボット活用自動化



工程改善

グローバルで推進
2025実績▲5.6%
省人化達成
(2024比)

2026



サーカス式ライン



※画像はイメージ (AI生成)

誰もが活躍できる職場環境

2027

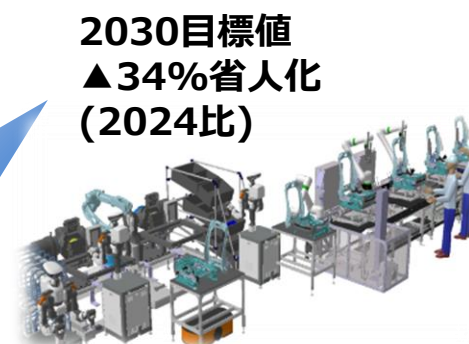


フィジカルAIによる自動化



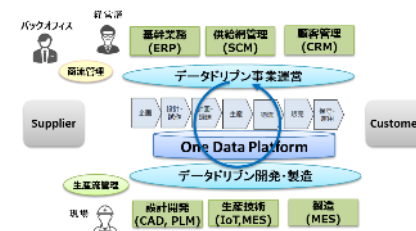
AI活用による自動検査

2030



2030目標値
▲34%省人化
(2024比)

人とロボットが協働する生産工程

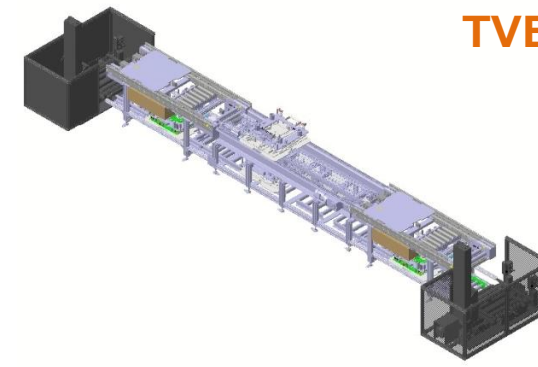


One Data Platform

“グローバルで自動化技術を水平展開”

「深化」モノづくり競争力の強化 2.0

TPW (TACHI-S Production Way) 戦略の実践



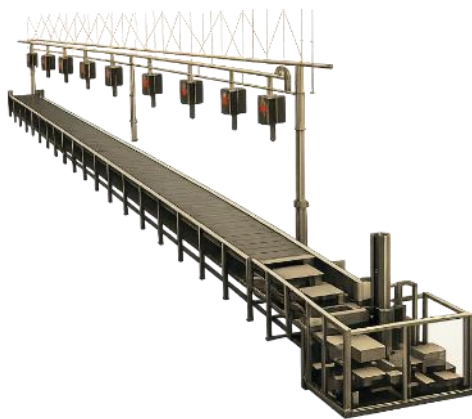
➤ 環境変化と短期開発に即応する「サーカスライン」

Benefit

- ・ 短期導入により、新車開発スケジュールに柔軟かつ迅速に対応
- ・ 生産変動に応じた柔軟な設備運用により、安定した供給を実現
- ・ 標準ユニットにより、グローバルで均一な品質と競争力を確保

■ フレーム工程、組立工程、検査、出荷までの各工程の設備を標準ユニットにして組み合わせることで生産

Before : 専用設備で一体式
分割不可、移動が困難



伸長と短縮困難な仕様

CHANGE

After : 標準ユニットで分割式、運搬と設置および追加が容易

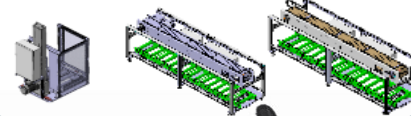
環境変化と短期開発に即応する仕組み

標準ユニットをカタログ選択
最適構成を短期間で実現



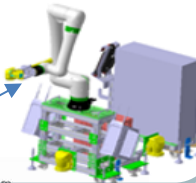
生準期間 : 12か月 → 2か月

生産量に合わせ、
段階的に増設可



自動化ユニットの
追加可

ロボット



グローバルで統一された仕様により
他拠点へ転用可能

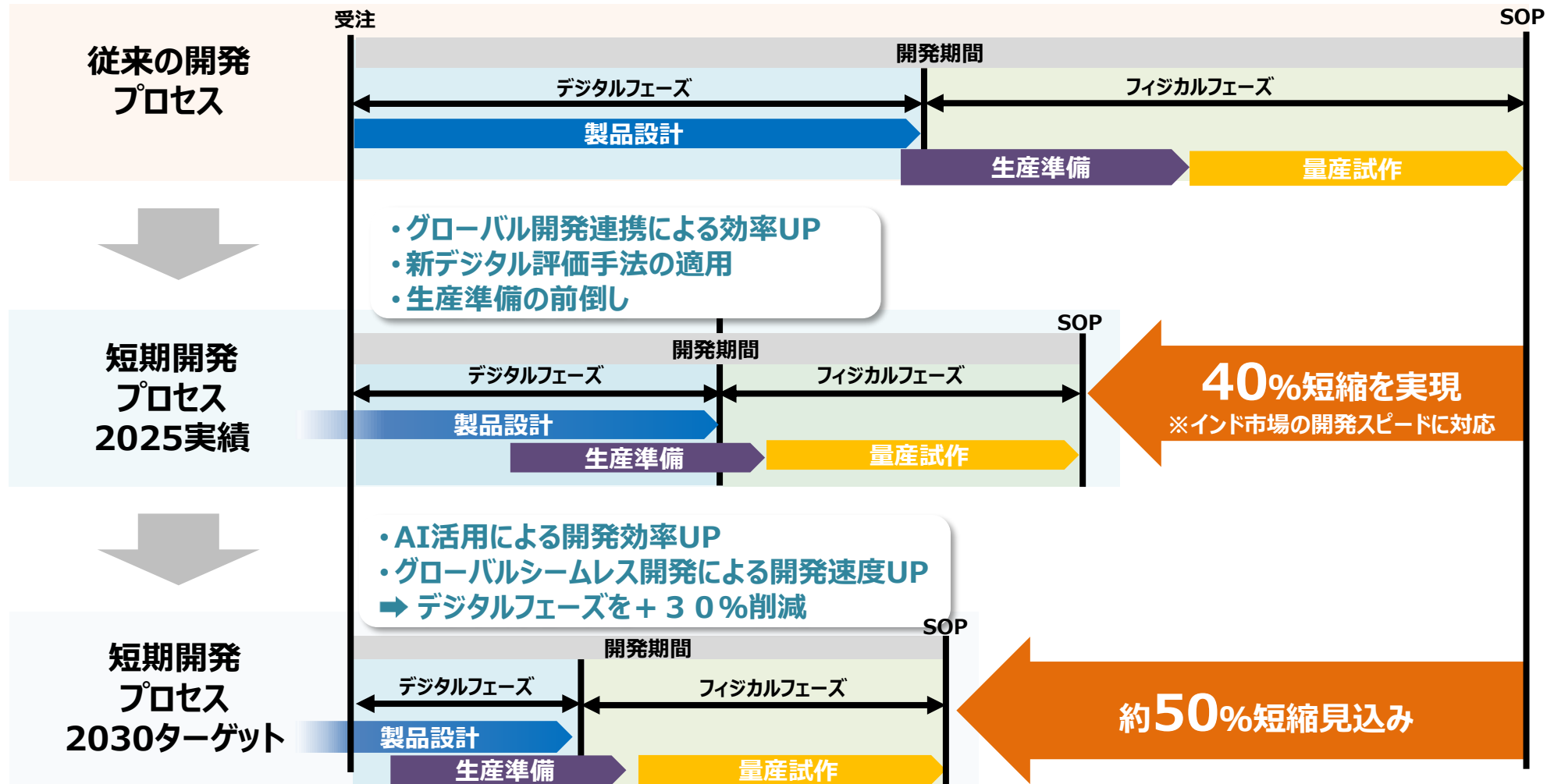
Topic

2026年度
短期開発の
インドビジネス
へ導入



「深化」モノづくり競争力の強化 2.0 開発プロセスの変革 ～短期開発への取組み～

- デジタル評価の精度向上により開発速度を向上
- グローバル拠点の連携の更なる強化により開発期間を短縮



目次

- ▶ 1. 2025年3月期 決算実績
- ▶ 2. 2026年3月期 業績見通し
- ▶ 3. **中期経営計画（TVE※）の進捗**
 - TVE Wave2 2027リマインド
 - 「深化」 現有事業での持続的価値創造
 - 「深化」 組織営業力の強化2.0
 - 「深化」 モノづくり競争力の強化2.0
 - 「深化」 **事業領域の拡大**
 - 「進化」
 - 経営基盤の強化

※Transformative Value Evolution

「深化」 事業領域の拡大

2026年4月10日に発表した株式会社 TOYO H&Iの企業統合について

目指す姿

- 当社及びTOYO H&Iグループの保有する顧客とビジネス領域を組み合わせ、両社の事業を発展させ企業価値を高める
- 当社及びTOYO H&Iグループの保有する技術・ノウハウ・リソースの相互活用・補完、また両社の部品の相互活用及び共用化により、製品競争力の強化を図る

狙い

①

顧客ポートフォリオの拡充

②

製品の相互活用とアセット最大活用

③

開発リソースの効率化と技術革新の創出

④

事業領域の拡大

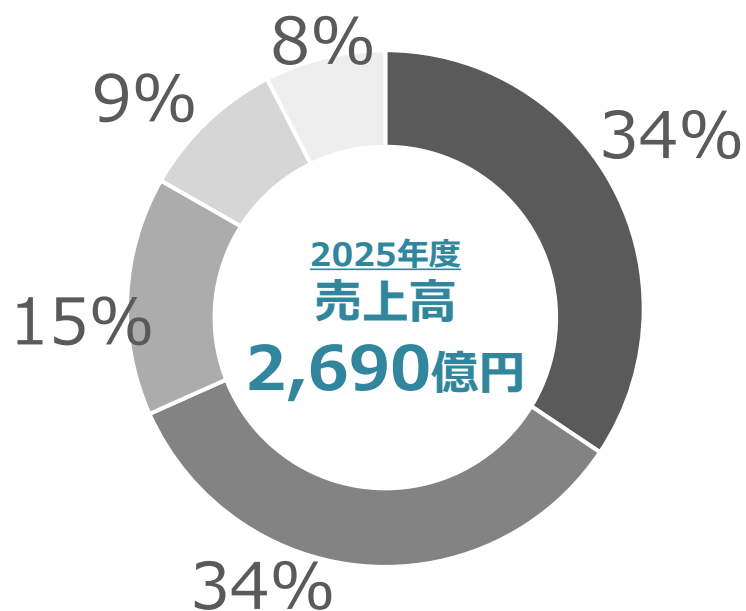
① 顧客ポートフォリオの拡充

- 当社の顧客ポートフォリオに、TOYO H&Iグループの顧客であるマツダ・スズキが加わることで、独立系シートメーカーとしての顧客基盤が一層強化され、将来的な新規ビジネス獲得機会が拡大

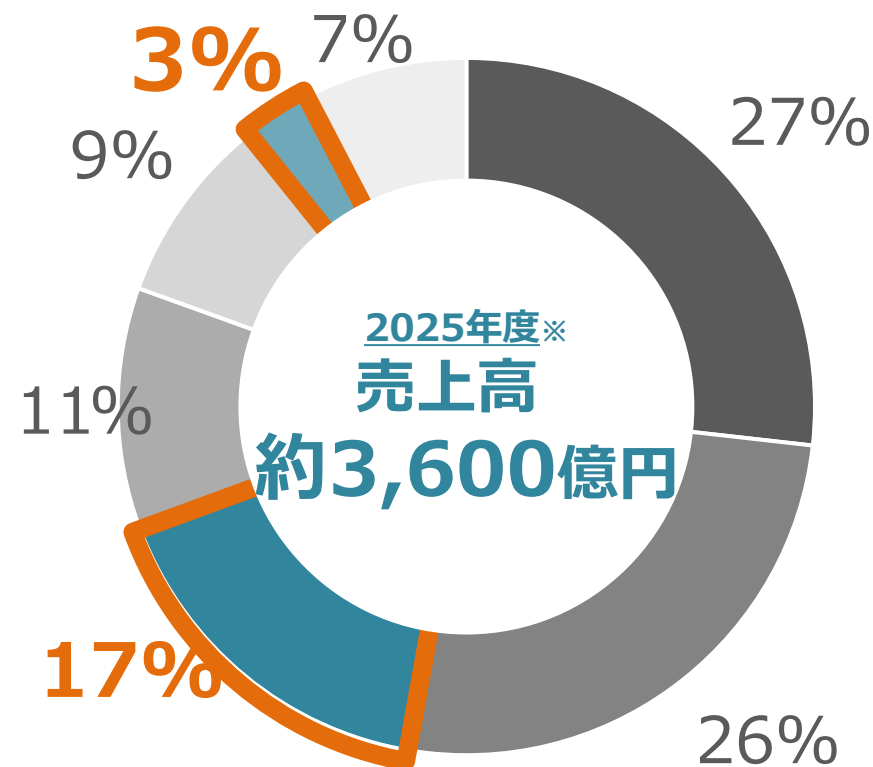
圏別売上高(1)

■日産圏 ■ホンダ圏 ■三菱圏 ■トヨタ圏 ■マツダ圏 ■スズキ圏 ■その他

現状



統合後イメージ



※ 当社2025年度連結売上高に、TOYO H&Iグループの連結売上高を単純合算した数値。但し、TOYO H&Iグループの連結売上高は監査未実施の簡易的な連結数値

② 製品の相互活用とアセット最大活用

- 両社が保有するシートデバイスの相互活用により、製品ラインナップを補完し合うことで、提案力を向上
- ドアトリムでの樹脂成形技術の手の内化により、シート+内装部品領域で開発力を強化
- フットプリントにおける国や地域の重複が無く、双方のアセットをグローバルで最大活用したシナジーが期待できる

TACHI-S

パワーリクライナー マニュアルリクライナー マニュアルブレーキ パワールブレーキ
 パワースライドレール

シートデバイス

ロック
 マニュアルスライドレール

TOYO SEAT

2段ロック マニュアルロングスライドレール フロアラッチ

内装部品

NANJO

ドアトリム
 アームレスト コンソールリッド
 樹脂成形

保有アセット

シートフレーム シート表皮 ウレタン発泡 ヘッドレスト一体発泡

グローバルフットプリント (連結対象会社)

	国内					海外				
	東北	関東	中部	近畿 中国	九州	米国	中南米	中国	ハンガリー	アセアン
TACHI-S	○	○	○		○	○	○ (メキシコ・ブラジル)	○		○ (タイ)
TOYO SEAT				○		○		○	○	○ (フィリピン)
NANJO				○			○ (メキシコ)			

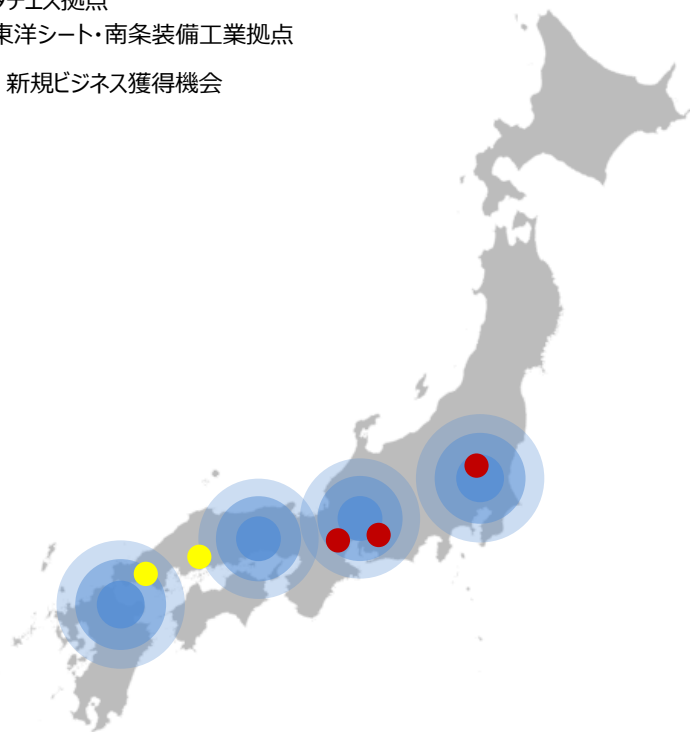
① × ② によるシナジー

相互の既存アセット（拠点と製品）活用による新規ビジネス獲得機会の増加

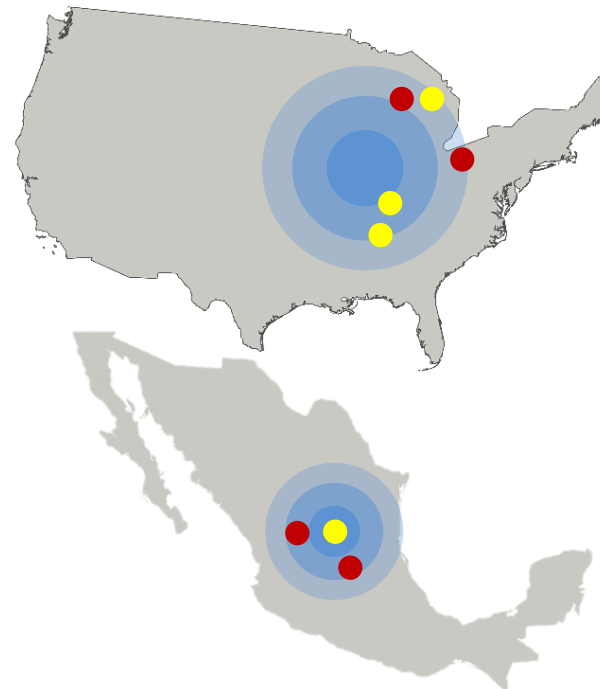
- 短期的には機構部品ビジネスを中心に、新たなビジネスの獲得を期待
- 中期的には、OEMのニーズ・期待を踏まえつつ、シート及びシートフレーム供給を目指す

日本

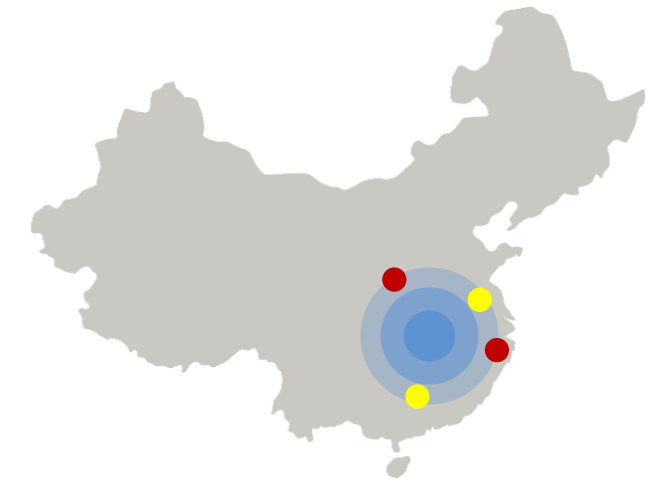
- タチエス拠点
- 東洋シート・南条装備工業拠点
- 新規ビジネス獲得機会



北中南米



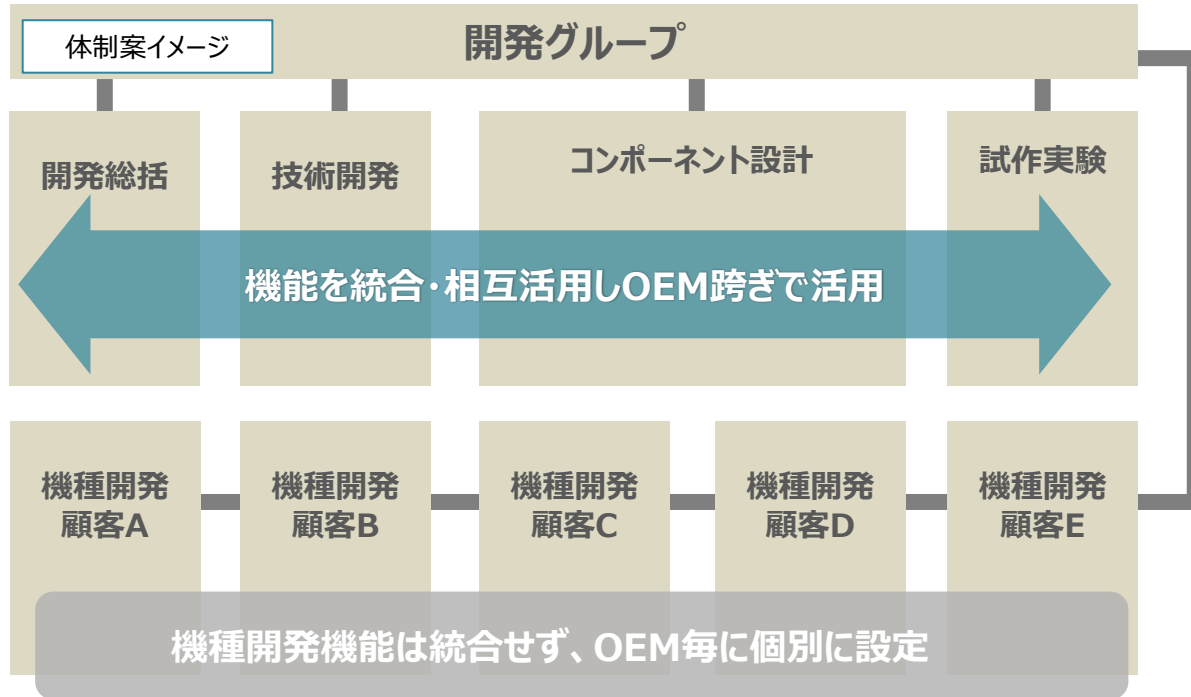
中国



シート構成部品・機構部品・シート表皮関連部品の新規ビジネスの獲得

③ × ④ によるシナジー

- 開発機能の統合・相互活用やコンポーネントの共通化・相互活用により創出する新たな開発リソースを用いイノベーションを加速



- 東洋シートと南条装備工業を迎え入れることで、当社グループの事業領域が拡大



3社の知見・ノウハウ・技術を相互に活用し、より付加価値の高い提案を行うことが可能

目次

- ▶ 1. 2025年3月期 決算実績
- ▶ 2. 2026年3月期 業績見通し
- ▶ 3. **中期経営計画（TVE※）の進捗**
 - TVE Wave2 2027リマインド
 - 「深化」 現有事業での持続的価値創造
 - 「深化」 組織営業力の強化2.0
 - 「深化」 モノづくり競争力の強化2.0
 - 「深化」 事業領域の拡大
 - 「進化」**
 - 経営基盤の強化

※Transformative Value Evolution

「進化」

- スマートシェルでシートを中心とした“パーソナルな没入体験価値”を提供
- 自動車への搭載に向けて異業種への参入を計画



~2024
CASE/MaaS時代の
体験価値を探索

2025
パーソナルな
プライベート体験を提供

2026

2027

2030



移動マイルーム
車室内空間を
プロデュース



スマートシート
高機能なハード
(装備)を提供

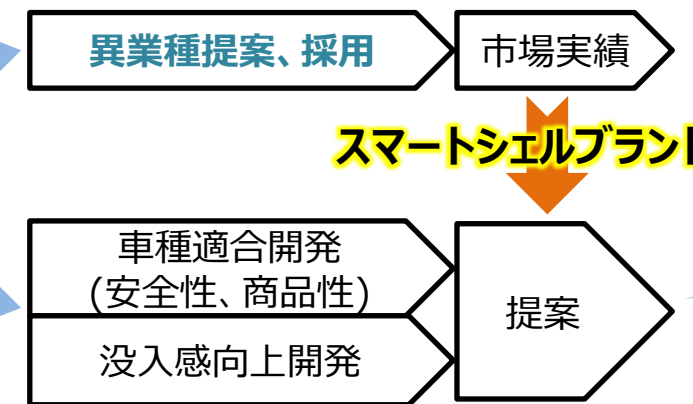


スマートシェル#0
コンセプトモデル
シートを中心とした
プライベート空間と
没入感による
体験価値を提供



スマートシェル#1
車両搭載可能なサイズへ小型化
五感にアプローチする没入体験の質を向上
安全性、快適性を向上

➡ 1企業/4大学との共同開発で継続進化
※2026年5月27~5月29日
人とするまのテクノロジー展横浜出展



自動車市場採用

スマートシェルブランドカ

タチエスが提供するシート
機能や性能な多様なコンポーネントを
ソフトウェア化・知能化で連携させ新たな価値を提供する
SDC(Software Defined Component)

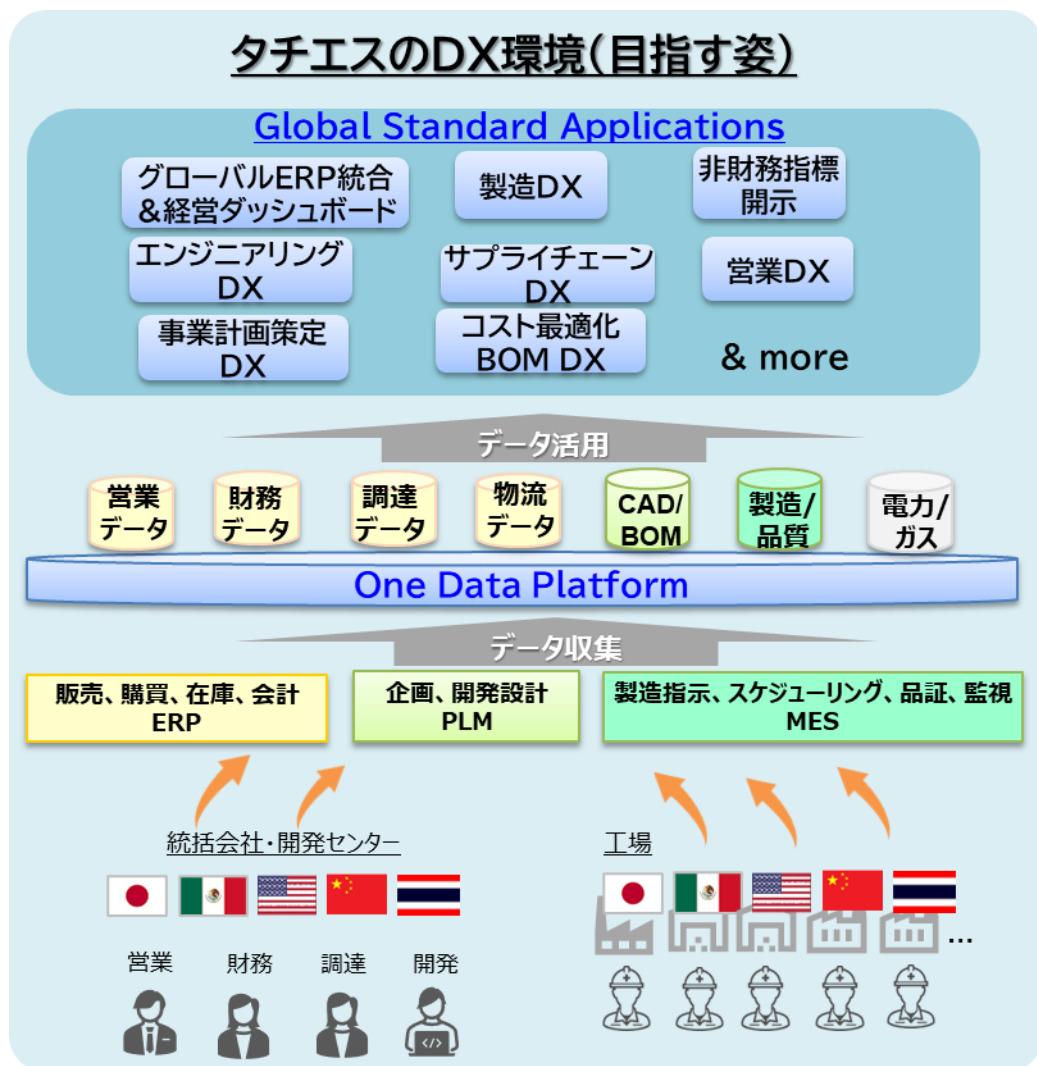
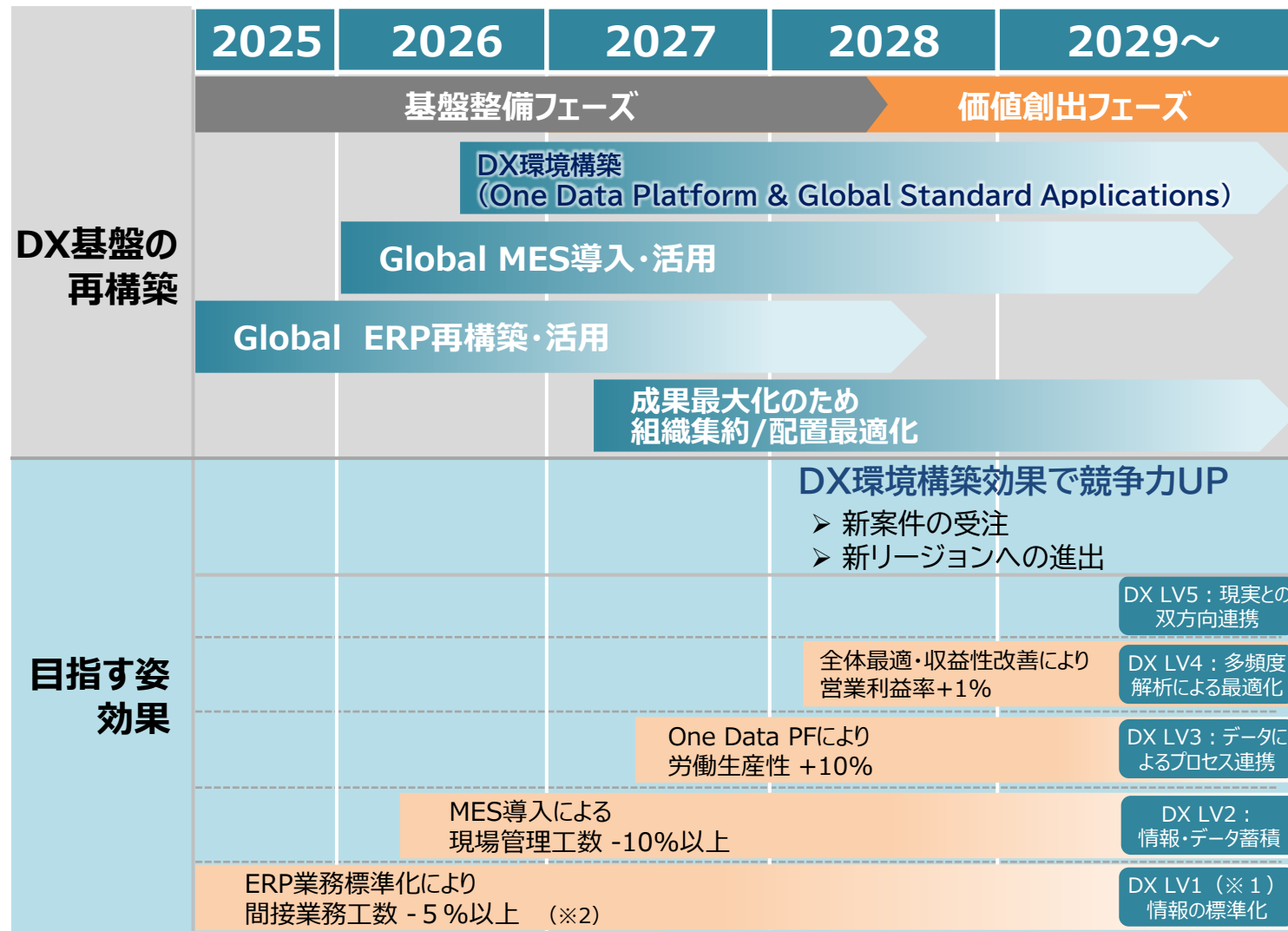
OTAによる価値アップデート

目次

- ▶ 1. 2025年3月期 決算実績
- ▶ 2. 2026年3月期 業績見通し
- ▶ 3. **中期経営計画（TVE※）の進捗**
 - TVE Wave2 2027リマインド
 - 「深化」 現有事業での持続的価値創造
 - 「深化」 組織営業力の強化2.0
 - 「深化」 モノづくり競争力の強化2.0
 - 「深化」 事業領域の拡大
 - 「進化」
 - 経営基盤の強化**

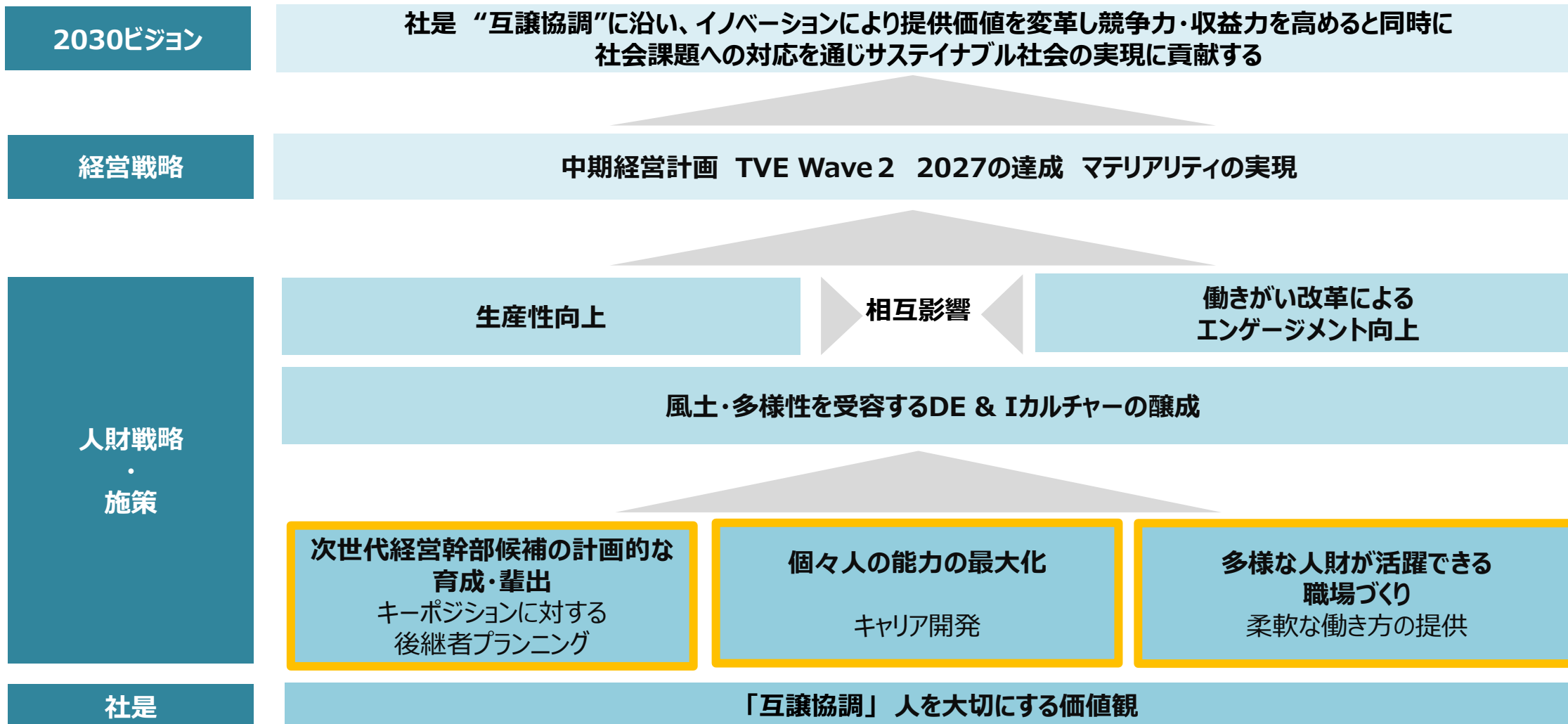
※Transformative Value Evolution

➤ DX基盤を再構築し、全社の知恵とデータをつなぎ、競争力を高める



人的資本経営の推進

- マテリアリティ「価値創造に向け自律的に行動できる人財と風土の醸成」で目指す姿とその先の2030ビジョンに向けて、施策の効果を適切に評価し、課題解決を推進する



人的資本経営の推進

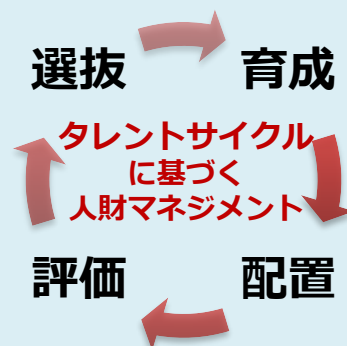
➤ マテリアリティ：価値創造に向け自律的に行動できる人財と風土の醸成

重要施策	主要KPI		2024年度	2025年度（実績）	2027年度
<ul style="list-style-type: none"> 個々人の能力の最大化 キャリア開発 柔軟な働き方 働きがい改革による エンゲージメント向上 	<ul style="list-style-type: none"> 働き方アンケート 	単体	基点	5%向上 ・働き方アンケートによる従業員満足度：3年連続で向上 ・アンケートの中でも人的投資の成果として、「能力開発の機会」は前年比15%向上	30%向上
<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上 	<ul style="list-style-type: none"> 1人当たり営業利益（千円） 	グローバル	900	1,320	1,300
<ul style="list-style-type: none"> 多様性を受容する DE & Iカルチャーの醸成 キーポジションに対する 後継者プランニング 	<ul style="list-style-type: none"> 女性役員/管理職比率 非日本人役員比率 後任候補設定比率 	グローバル/単体 グローバル グローバル	4%/4% 1名以上 100%	8.7%/5.5% 1名 100%	17%/10% 1名以上 100%

人財施策・戦略の取り組み

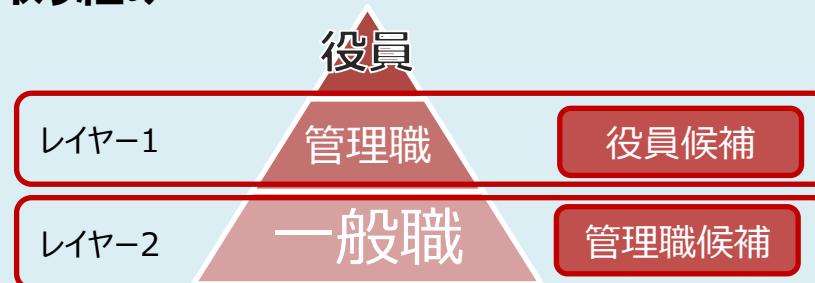
タレントマネジメント

経営戦略と連動したタレントパイプライン（確保、育成、配置、評価）の最適化により、企業の競争力強化と従業員エンゲージメントの向上を両立



ダイバーシティの取り組み

女性役員/女性管理職比率の向上に向けて、候補者のレイヤーごとに進捗管理を行い、着実な登用を図る



サステイナブル社会実現への貢献

➤ 気候変動や人権に配慮した事業活動を推進し受注機会の創出とサステイナブル社会の実現への貢献を両立する

	2025実績	2026取組み	2027	2030	
E 環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ カーボンニュートラル <ul style="list-style-type: none"> ・CO₂削減: ▲27%の達成 (第三者検証受審前) 目標: ▲27% (スコープ1,2連結総排出量 FY19比) ・仕入先とのCO₂削減面談を実施 (スコープ3) ■ 資源循環 <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄樹脂からの製品材料化トライアル 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ活動継続 ・製品 ライフサイクルCO₂を削減 →物流のCO₂ →サプライチェーンのCO₂ →製品素材のCO₂ 	CO ₂ 削減目標▲31%	▲36%	▲50%
S 社会	<ul style="list-style-type: none"> ■ サプライチェーンのESG取組み推進 <ul style="list-style-type: none"> ・各社のESG自己評価結果を分析 ■ 地域社会貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・自治体との協議、グループ各社による寄付活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・サプライヤーのカーボンニュートラル、人権を含むESG取組み改善支援 			
G ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 非財務情報開示 <ul style="list-style-type: none"> ・統合報告書発行準備 ■ ESG外部評価 <ul style="list-style-type: none"> ・FTSE Blossom Japan Index選定 		<ul style="list-style-type: none"> ・統合報告書発行 2026年度下期 		



“座る”を追求し人と地球を支える



Global Seat System Creator

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来に関する見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、不確実性やリスクを含んでおります。

したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと異なる可能性があります。ご了承ください。

TVE Wave 2 2027 マテリアリティと非財務KPI

➤ TVE Wave 2 2027では、財務パフォーマンスと共に非財務KPIについて進捗をマネジメントしていく

マテリアリティ	領域	重要項目 (KPI)		2024レベル	2025実績	2027目標	2030目標
①イノベーションと事業を通じた社会課題への対応(価値の提供)	イノベーション	社会課題対応の 開発費増加率 ※	単体	• FY19比+8%	• FY19比 +12%	• FY19比+90%	• FY19比+120%
		社外パートナーとの 協働活動数	単体	• 共同開発・研究 & 業務委託契約 3件	• 5件 スマートシェル開発にて 1企業/4大学と協業開始	• 共同開発・研究 & 業務委託契約 5件	• 共同開発・研究 & 業務委託契約 5件
	モノづくり戦略	グローバル 対象拠点の 省人化率	グローバル	• 労働人口減少、労務費高騰 • デジタル技術・IoTの活用 →生産プロセス自動化・最適化が必要	• 省人化率 ▲5.6%	• 省人化率 ▲15% • FY24比 • 対象拠点 TSJ/TSM/SETEX OHIO	• 省人化率 ▲34% • FY24比 • 対象拠点 TSJ/TSM/SETEX OHIO
		ITリテラシー向上	単体	• 教育開始	• 間接従業員 100%	• 間接従業員 50%	• 間接従業員 100%
	デジタル変革	デジタル人財の人数	グローバル	• -	• 候補者 76名創出	• 50名以上 (単体)	• 100名以上 (グローバル)
②サステナブル社会の実現への貢献と信頼に基づき選ばれ続ける企業になるための真摯な事業運営	環境	CO ₂ 総排出削減率 スコア 1+2	グローバル	• FY19比▲17%	• 19年度▲27% (第三者検証前の速報値)	• FY19比▲36%	• FY19比▲50%
	人権	人権アセスメントスコア	グローバル	• C~Bレベル (見込み)	• Cレベル (アセスメントを受審しレベル確定)	• Bレベル以上	• Aレベル
③価値創造に向け自律的に行動できる人財と風土の醸成	人財育成・ タレント マネジメント	多様性を受容する DE & Iカルチャーの醸成					
		女性役員/管理職比率	単体	• 4%/4%	• 女性役員 8.7% / 女性管理職 5.5%	• 17%/10%	• 30%/15%
	従業員の 働きがい向上	働き方アンケート	単体	• 基点	• 5%向上	• 30%向上	• 47%向上

※基準年をFY20からFY19へ変更、増加率を3年平均値に見直し(2026.5.26)

25年度下期 主なトピックス

経営・事業

日本	子会社の異動を伴う株式の取得及び特定子会社の異動に関するお知らせ	ニュースリリース
----	----------------------------------	----------

受賞

中国	2025年度 優秀協力企業賞を受賞（鄭州泰新）	ニュースリリース
中国	2025年度 東風日産最優秀品質パフォーマンス賞受賞（鄭州東風李爾泰新）	ニュースリリース
中国	2025年度 東風日産最優秀サプライチェーンパートナー賞を受賞（大連東風李爾泰極愛思）	ニュースリリース

出展・イベント

日本	本社/技術・モノづくりセンター及び武蔵工場 見学説明会開催	ニュースリリース
----	-------------------------------	----------

サステナビリティ

日本	青梅羽村企業連携社会貢献プロジェクトへの参画
日本	NPO法人「海外に子ども用車椅子を送る会」への防災ヘルメット寄贈
日本	副産肥料の有効活用への取り組み（TF-METAL）
日本	アップサイクル製品の販売（NuiTecCorporation）
日本	フードロスへの取り組み（タチエスサービス）
中南米	障害者支援施設への寄付活動（TACHI-S Mexico）
中南米	老人ホーム・児童養護施設・母子支援施設への保存食品の寄贈（TACHI-S Brasil）
中南米	チャリティマラソン参加による犬用フード寄付活動（TF-METAL Mexico）
中南米	メキシコ対がん協会へのプラスチックキャップ寄付（SETEX Mexico）
中国	貧困世帯および高齢者への生活支援（泰極愛思（中国））
東南アジア	タイ南部の水害への寄付（TAST）
東南アジア	「子供の日」にあわせた学校への寄付活動（TAST）



本社/技術・モノづくりセンター及び武蔵工場 見学説明会開催



東風日産最優秀品質パフォーマンス賞受賞
（鄭州東風李爾泰新）



犬用フード寄付活動
（TF-METAL Mexico）



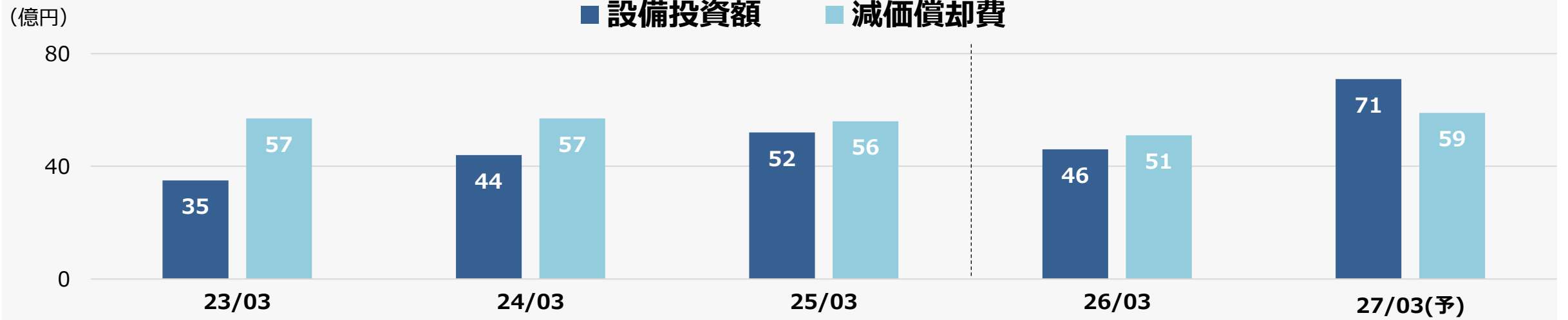
貧困世帯・高齢者への生活支援
（泰極愛思（中国））



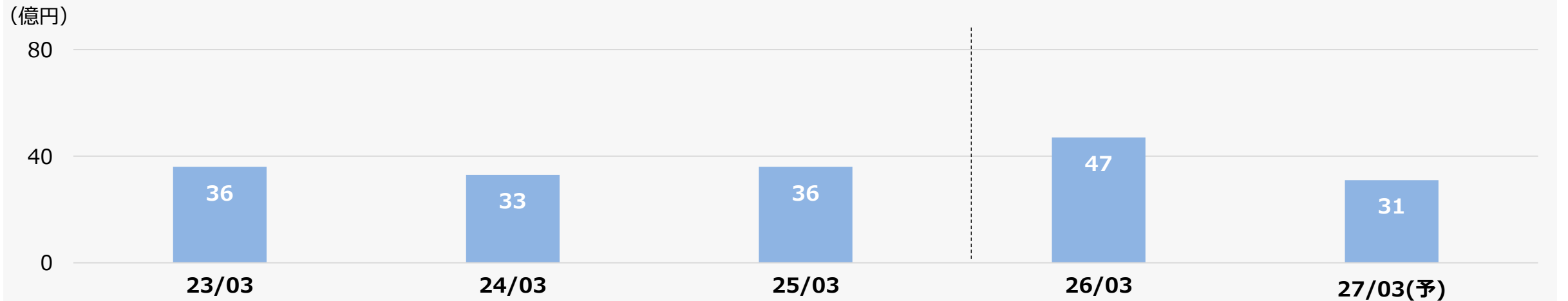
タイ南部の水害への寄付
（TAST）

設備投資額・減価償却費・研究開発費（連結）































設備投資額・減価償却費



研究開発費



25年度 新規・マイナーモデルチェンジ車種

	2025												2026					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
Japan			 N-ONE e:	 DYNA/DUTRO (M)		 OUT LANDER (M)	 N-WGN (M)	 ECLIPSE CROSS (M)	 N-ONE (M)	 SKYLINE (M)	 NV200 VANETTE (M)	 ARIYA (M)			 ZR-V (M)	 Super-ONE	 N-VAN (M)	
U.S.A					 INTEGRA (M)													
Mexico				 KICKS (M)				 SENTRA (M)									 VERSA (M)	
China ASEAN			 奇瑞 JETOUR X90 (M)	 奇瑞 JETOUR 山海L7Plus (M)	 奇瑞 JETOUR 山海L9 (M)	 I.T.BOX 汽車 海馬EX00		 ALTIMA (M)	 鄭州日產 銳旗7 (M)	 SYLPHY	 X-TRAIL (M)	 BYD 方程豹 5 (M)	 上海汽車 智己S31L	 NAVARA (M)	 NX8		 上海汽車 IM LS8	 Frontier Pro PHEV

為替の推移

(単位：円)

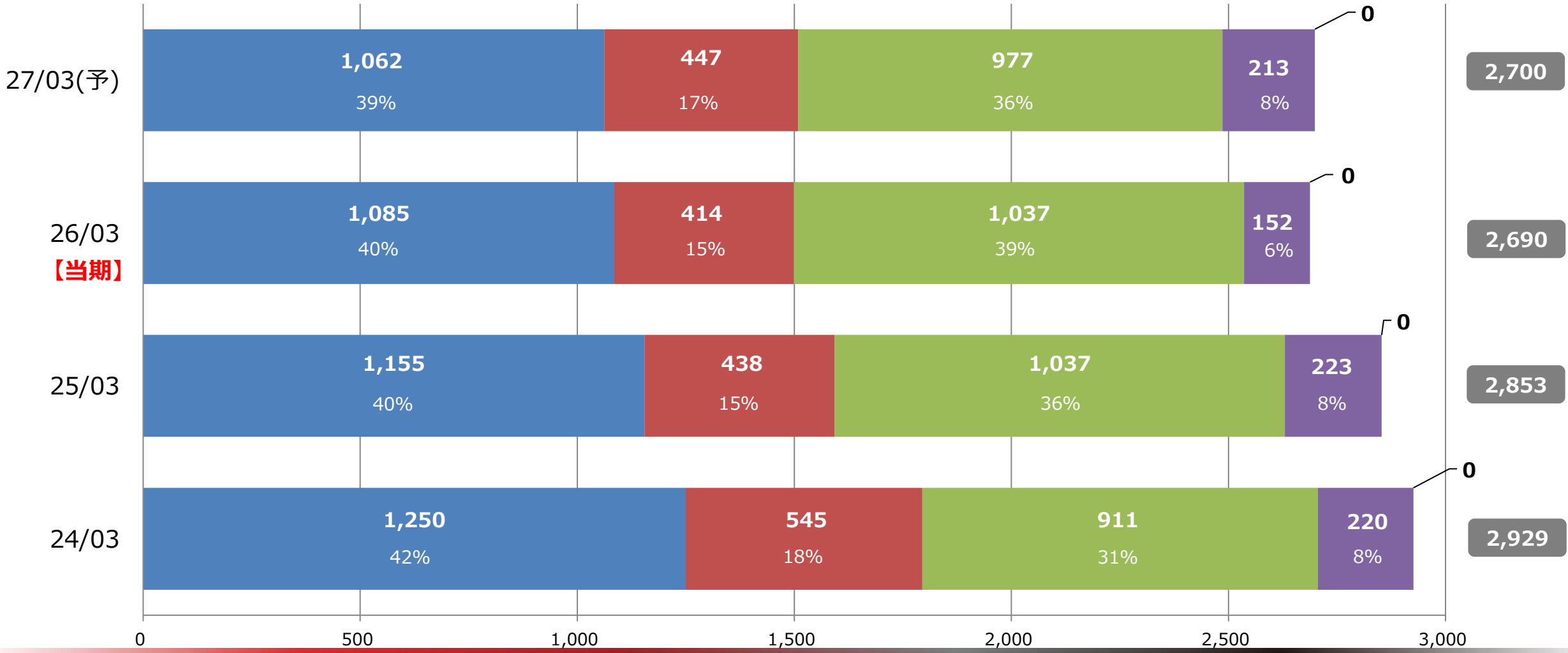
	23/03	24/03	25/03	26/03	27/03(予)
USD	135.07	143.83	150.88	150.23	152.00
MXN	6.50	7.91	8.31	7.76	8.20
RMB	19.42	19.79	20.98	20.81	22.00

単位：億円
(億円未満切捨て)

売上高の推移（連結）－所在地別 売上高－

所在地別売上高

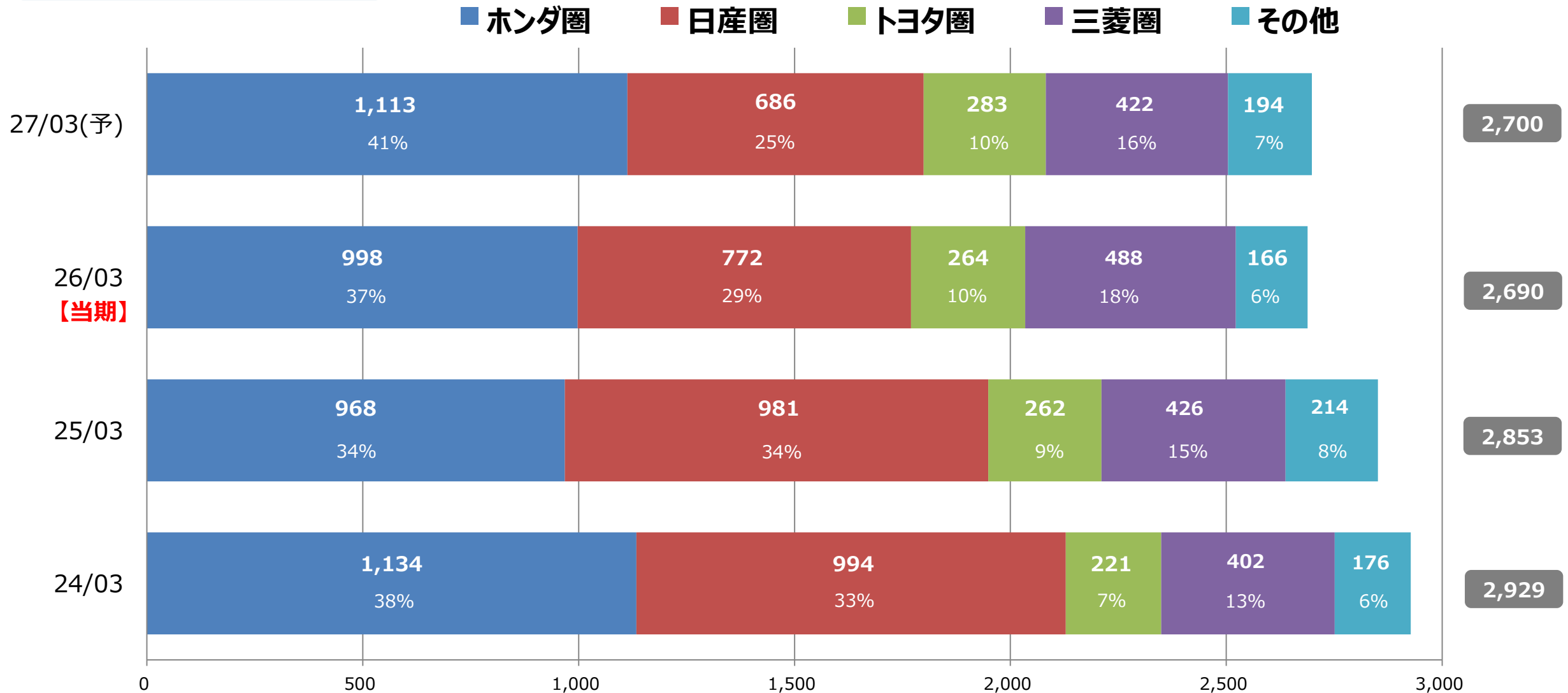
■ 日本 ■ 北米 ■ 中南米 ■ アジア ■ 欧州



単位：億円
(億円未満切捨て)

売上高の推移（連結）－圏別売上高－

圏別売上高

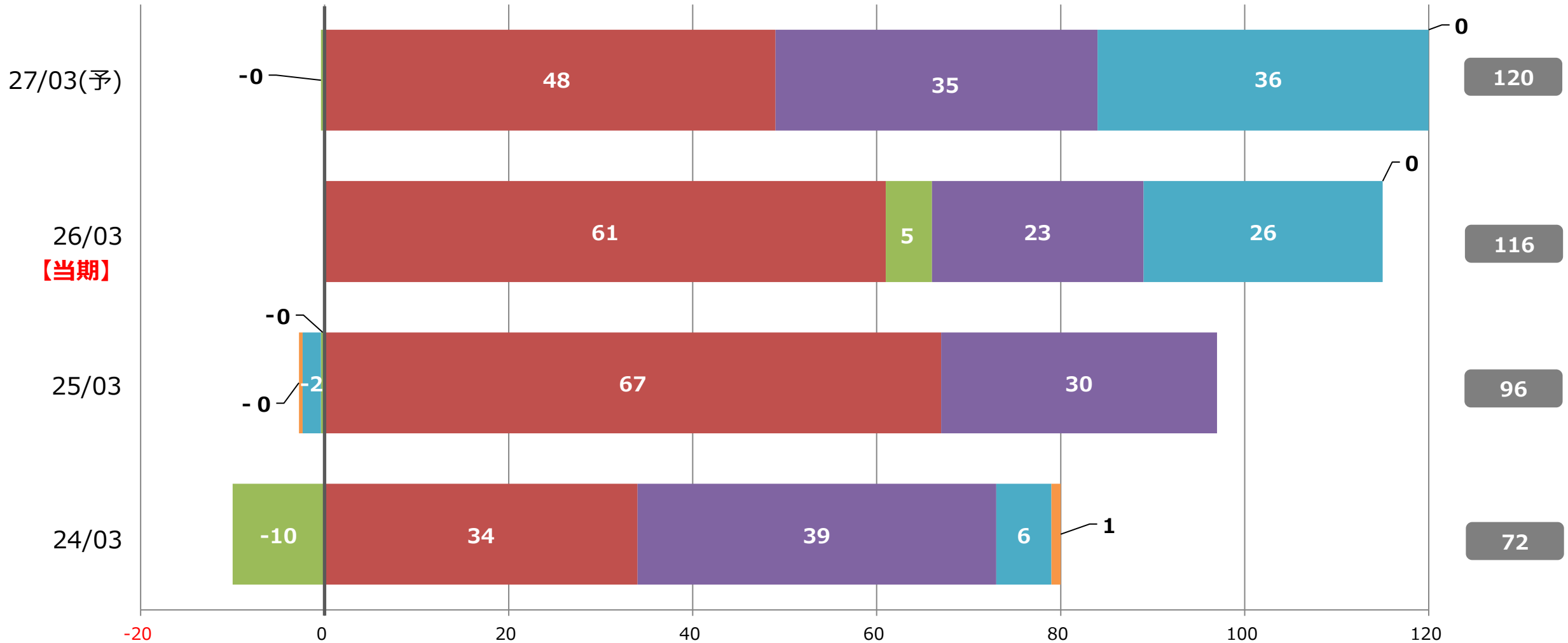


利益の推移（連結）－所在地別 営業利益－

単位：億円
 (億円未満切捨て)

所在地別営業利益

■ 日本 ■ 北米 ■ 中南米 ■ アジア ■ 欧州

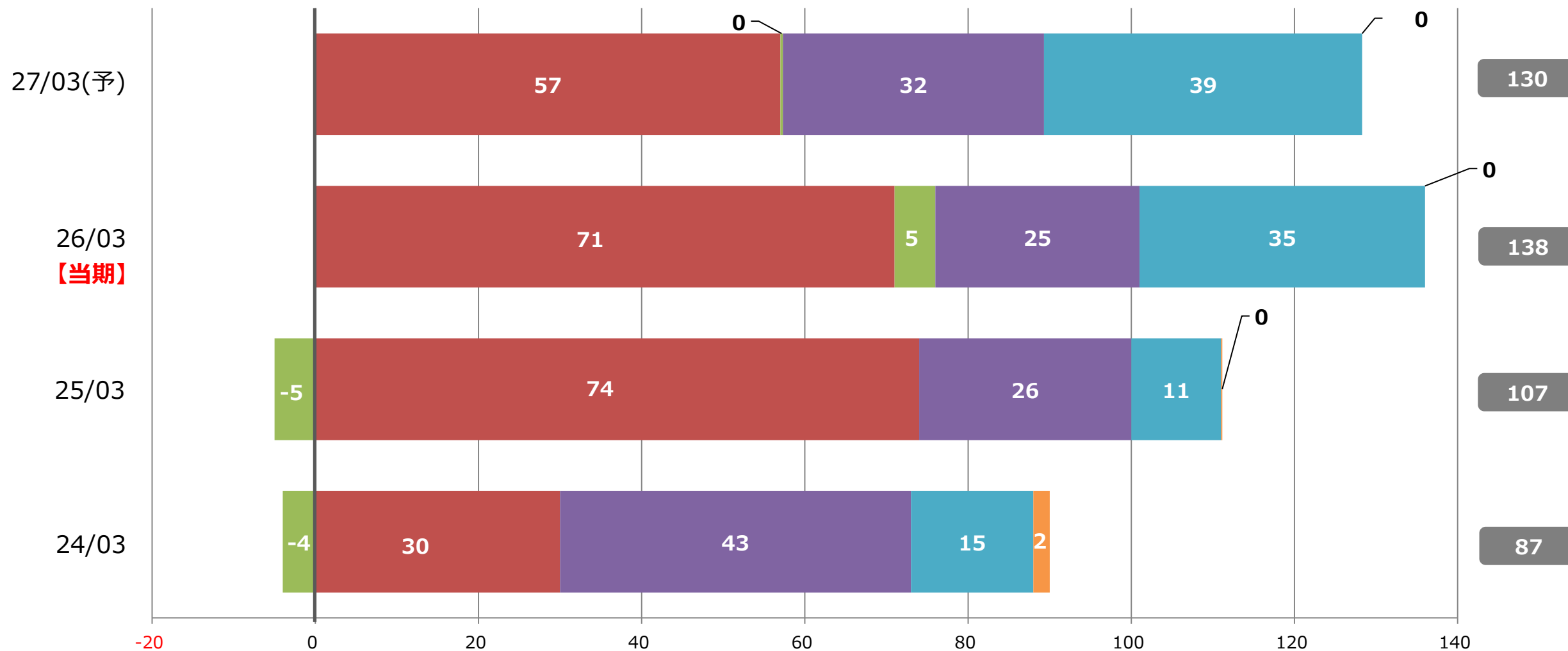


利益の推移（連結）－所在地別 経常利益－

単位：億円
(億円未満切捨て)

所在地別経常利益

■ 日本 ■ 北米 ■ 中南米 ■ アジア ■ 欧州



事業所一覧（日本）

拠点名	所在地	業務内容	主な納入先	開設年月
本社／技術・モノづくりセンター	東京都青梅市	本社機能 営業・調達・設計・開発・ 実験・生産・品質等技術全般	—	1954年 4月 ※2012年 4月 TTMC開設 2022年 12月 本社移転
技術センター愛知	愛知県安城市	営業・調達・設計・開発	—	1999年 8月
愛知工場	愛知県安城市	自動車座席・座席部品の製造	三菱自動車、トヨタ紡織	1977年 4月
武蔵工場	埼玉県入間市	自動車座席・座席部品の製造	本田技研工業、日産車体、 日野自動車	1980年 1月 ※2022年 12月 平塚工場移転 2025年 1月 青梅工場移転
アドバンス・テクノロジー・センター	東京都青梅市	試作・実験	—	1969年 4月 ※2025年1月 名称変更 (旧青梅工場)
栃木工場	栃木県下野市	自動車座席・座席部品の製造	日産自動車、日野自動車	1982年 2月
鈴鹿工場	三重県鈴鹿市	自動車座席の製造	本田技研工業	1984年 10月

25年3月31日時点

関係会社一覧（日本）

連結範囲	会社名	所在地	資本金	主な事業内容	主な納入先	出資比率 ()は間接所有を含む	設立年月	決算期
◎	株式会社TF-METAL	静岡県 湖西市	百万円 50	自動車座席部品の 開発、製造、販売	タチエス、 錦陵工業、 TF-METAL Mexico	100.0%	2017年 5月	3月
◎	株式会社Nui Tec Corporation	秋田県 横手市	百万円 325	自動車座席用縫製部品の 製造、販売	タチエス、 トヨタ紡織東北	100.0%	2006年 7月	3月
◎	株式会社タチエスH&P	東京都 青梅市	百万円 40	各種バネ・自動車等 座席部品・医療用ベッドの 製造、販売	タチエス、 TF-METAL、 自動車関連以外	100.0%	1961年 4月	3月
○	錦陵工業株式会社	福岡県 京都郡	百万円 100	自動車座席・座席部品の 製造、販売	日産自動車	25.0%	1976年 2月	3月
◎	株式会社TF-METAL磐田	静岡県 磐田市	百万円 15	自動車座席部品の製造、販売	TF-METAL、 日本発条	(100.0%)	1986年 10月	3月
◎	株式会社TF-METAL九州	大分県 中津市	百万円 10	自動車座席部品の製造、販売	TF-METAL、 ジェイテクトコラムシステム	(100.0%)	1985年 7月	3月
◎	株式会社TF-METAL東三河	愛知県 新城市	百万円 10	自動車座席部品の製造	TF-METAL	(100.0%)	1986年 10月	3月

◎ 連結子会社 6社

△ 持分法適用の非連結子会社 -

○ 持分法適用の関連会社 1社

□ 非連結子会社 1社

※ 持分法非適用の関連会社 - □ タチエスサービス株式会社

関係会社一覧（北米）

連結範囲	会社名	所在地	資本金	主な事業内容	主な納入先	出資比率 ()は間接所有を含む	設立年月	決算期
◎	TACHI-S Engineering U.S.A., Inc.	米国 ミシガン州	百万USD 43	北米における 営業、開発業務及び統括管理	—	100.0%	1986年 7月	3月
◎	TF-METAL Americas Corporation	米国 ミシガン州	百万USD 0	米州における統括管理、開発	—	(100.0%)	2000年 7月	3月
◎	SETEX, Inc.	米国 オハイオ州	百万USD 5	自動車座席の製造、販売	北米本田	(100.0%)	1987年 9月	3月
◎	TACHI-S Automotive Seating U.S.A., LLC	米国 テネシー州	百万USD 22	自動車座席の製造、販売	北米日産	(100.0%)	2005年 12月	12月

◎ 連結子会社 4社

△ 持分法適用の非連結子会社 —

○ 持分法適用の関連会社 —

□ 非連結子会社 —

※ 持分法非適用の関連会社 —

関係会社一覧（中南米）

連結 範囲	会社名	所在地	資本金	主な事業内容	主な納入先	出資比率 ()は間接所有を含む	設立 年月	決算期
◎	TACHI-S Engineering Latin America, S.A. de C.V.	メキシコ アグアス カリエンテス州	百万MXN 2,184	中南米における 開発業務及び統括管理	—	(100.0%)	2012年 5月	12月
◎	Industria de Asiento Superior, S.A. de C.V. (TACHI-S Mexico)	メキシコ アグアス カリエンテス州	百万USD 26	自動車座席・座席部品の 製造、販売	メキシコ日産	(100.0%)	1991年 4月	12月
◎	SETEX Automotive Mexico, S.A. de C.V.	メキシコ グアナファト州	百万USD 24	自動車座席の製造、販売	メキシコ本田	(100.0%)	2012年 9月	12月
◎	TF-METAL Mexico, S.A. de C.V.	メキシコ アグアス カリエンテス州	百万USD 27	自動車座席部品の製造、販売	TSM、 フォーレシア	(100.0%)	2012年 6月	12月
◎	TACHI-S Brasil Industria de Assentos Automotivos Ltda.	ブラジル リオデジャ ネイロ州	百万BRL 525	自動車座席の製造、販売	ブラジル日産 ルノーブラジル	(100.0%)	2012年 8月	12月

◎ 連結子会社 5社

△ 持分法適用の非連結子会社 —

○ 持分法適用の関連会社 —

□ 非連結子会社 —

※ 持分法非適用の関連会社 —

関係会社一覧 (中国-1)

連結 範囲	会社名	所在地	資本金	主な事業内容	主な納入先	出資比率 ()は間接所有を含む	設立 年月	決算期
◎	泰極愛思 (中国) 投資有限公司	中国 広東省	百万RMB 259	中国における 営業、開発業務及び統括管理	—	100.0%	2011年 10月	12月
△	泰極愛思 (鄭州) 汽車 座椅研発有限公司	中国 河南省	百万RMB 75	中国における開発業務	—	(100.0%)	2015年 12月	12月
○	広州泰李汽車座椅有限公司	中国 広東省	百万RMB 66	自動車座席の製造、販売	アディエント 東風日産	49.0%	2004年 11月	12月
◎	湖南泰極愛思汽車座椅有限公司	中国 湖南省	百万RMB 40	自動車座席の製造、販売	広汽三菱汽車	(51.0%)	2012年 7月	12月
○	襄陽東実李爾泰極愛思 汽車座椅有限公司	中国 湖北省	百万RMB 30	自動車座席の製造、販売	東風日産	(20.0%)	2013年 7月	12月
○	鄭州泰新汽車内飾件有限公司	中国 河南省	百万RMB 11	自動車座席の製造、販売	鄭州日産 奇瑞汽車	50.0%	2001年 7月	12月
◎	武漢東風泰極愛思延鋒 汽車座椅有限公司	中国 湖北省	百万RMB 43	自動車座席の製造、販売	東風本田	50.0%	2008年 6月	12月

関係会社一覧 (中国-2)

連結 範囲	会社名	所在地	資本金	主な事業内容	主な納入先	出資比率 ()は間接所有を含む	設立 年月	決算期
○	大連東実李爾泰極愛思 汽車座椅有限公司	中国 遼寧省	百万RMB 50	自動車座席の製造、販売	東風日産	(49.0%)	2013年 8月	12月
※	武漢東実李爾泰極愛思 汽車座椅有限公司	中国 湖北省	百万RMB 50	自動車座席の製造、販売	東風日産	(5.0%)	2019年 11月	12月
◎	泰極(広州)汽車内飾有限公司	中国 広東省	百万RMB 38	自動車座席用縫製部品の 製造、販売	タチエス	100.0%	2005年 9月	12月
◎	泰極愛思(武漢)汽車 内飾有限公司	中国 湖北省	百万RMB 35	自動車座席用縫製部品の 製造、販売	武漢東泰延	(100.0%)	2013年 10月	12月
◎	浙江泰極信 汽車部件有限公司	中国 浙江省	百万RMB 251	自動車座席部品の製造、販売	タチエス TAST	(82.8%)	2019年 12月	12月

◎ 連結子会社 6社

△ 持分法適用の非連結子会社 1社

○ 持分法適用の関連会社 4社

□ 非連結子会社 ー

※ 持分法非適用の関連会社 1社

関係会社一覧（東南アジア）

連結範囲	会社名	所在地	資本金	主な事業内容	主な納入先	出資比率 ()は間接所有を含む	設立年月	決算期
◎	TACHI-S Automotive Seating (Thailand) Co., Ltd.	タイ バンコク都	百万THB 924	東南アジア、インドにおける統括管理 自動車座席・座席部品の製造、販売	タイ日産 タイ三菱	100.0%	2010年 4月	12月
□	TACHI-S Engineering Vietnam Co., Ltd.	ベトナム ホーチミン市	百万VND 31,026	ベトナムにおける開発業務		100.0%	2013年 1月	12月
※	Uno Minda TACHI-S Seating Private Limited	インド デリー準州	百万INR 134	自動車座席部品の製造、販売		49.0%	2022年 10月	3月
□	APM TACHI-S Seating Systems Vietnam Co., Ltd.	ベトナム ダナン市	百万VND 56,567	自動車座席の製造、販売		(51.0%)	2016年 11月	12月
※	APM TACHI-S Seating Systems Sdn. Bhd.	マレーシア スランゴール州	百万MYR 5	自動車座席の製造、販売		(49.0%)	2013年 2月	12月

◎ 連結子会社 1社

△ 持分法適用の非連結子会社 -

○ 持分法適用の関連会社 -

□ 非連結子会社 2社

※ 持分法非適用の関連会社 2社

お問い合わせ先

株式会社タチエス 経営企画室

〒198-0025

東京都青梅市末広町1-3-1 (本社／技術・モノづくりセンター)

電話 : 0428-33-1138

E-mail : ts-kikaku@tachi-s.co.jp

担当 : 中村、福井、牧之内